

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											ムンプス	Infectious Diseases Weekly Report Japan2005年第1週	流行性耳下腺炎の発生状況について。
											HIV	Infectious Diseases Weekly Report Japan2005年第5週	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											HIV	The NewYork city department of health and mental hygiene,press release Feb 11 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。薬剤耐性のエイズウイルス感染症が米国で確認された。
											細菌感染	Infectious Diseases Weekly Report Japan2005年第8週	44頭のカキイザルが輸入され、うち4頭から細菌性赤痢菌が検出された。
											HIV	Infectious Diseases Weekly Report Japan2004年第16週	今期間における法定報告による新規のHIV感染者報告数について。
											サルモネラ	感染症学雑誌 2004;78(11) 989-90	日本においても多剤耐性Salmonella Newportが存在していることが確認された。
											E型肝炎	食品衛生研究 2005;55(2):49-51	冷凍シカ肉からE型肝炎ウイルスが検出された例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	国内における変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発生について
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年3月7日	平成17年3月7日に開催された薬食審・血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省医薬食品局長通知(薬食発第041016号)	採血時の欧州滞在歴に関する問診の強化及び今後の献血の推進について
											サルパルボウイルス	J of Infectious Diseases 2004;190(11)1900-7	サルのパルボウイルス病が潜在的な人畜共通の伝染病と認識することに関する研究。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/22	50247	持田製薬株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly 2005;8(46)	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191(4):499-502	New Haven コロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが典型的な川崎病の6ヶ月令の小児の呼吸器分泌液に存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
											レトロウイルス	Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005	これまで人間では感染が認められていなかったレトロウイルス(HTLV-3及びHTLV-4)がカメルーンで日常的にサルを狩猟している人々から発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005;11(8):7-8	モロッコで最初のvCJD患者について。この男性は定期的にヨーロッパを訪問していた。
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年4月21日	2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	オランダで最初のvCJD患者について。
2005/6/22	50248	持田製薬株式会社	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly 2005;8(46)	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191(4):499-502	New Haven コロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが典型的な川崎病の6ヶ月令の小児の呼吸器分泌液に存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
											レトロウイルス	Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005	これまで人間では感染が認められていなかったレトロウイルス(HTLV-3及びHTLV-4)がカメルーンで日常的にサルを狩猟している人々から発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005;11(8):7-8	モロッコで最初のvCJD患者について。この男性は定期的にヨーロッパを訪問していた。
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年4月21日	2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	オランダで最初のvCJD患者について。
2005/6/23	50249	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	無	無	無			
2005/6/23	50250	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/28	50251	日本オルガン株式会社	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血液、ウシ血液、ブタ臓臓抽出物、チャイニーズハムスター卵巣細胞	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/28	50252	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロ ンアルファ-2a(遺伝 子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	添加 物	無	無	無			
2005/6/28	50253	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロ ンアルファ-2a(遺伝 子組換え)	マウスの腹水由来成 分	マウスの腹水	アメリカ	製造 工程	無	無	無			
2005/6/28	50254	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロ ンアルファ-2a(遺伝 子組換え)	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラ リア	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50255	ジェンザイム・ ジャパン株式 会社	イミグルセラゼ(遺 伝子組換え)	ドナー仔牛血清	ドナー仔牛血液	ニュー ジーランド	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50256	ジェンザイム・ ジャパン株式 会社	イミグルセラゼ(遺 伝子組換え)	ポリゼリン	ウシ骨抽出物	米国	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50257	ジェンザイム・ ジャパン株式 会社	イミグルセラゼ(遺 伝子組換え)	イミグルセラゼ(遺 伝子組換え)	遺伝子組換えチャ イニーズハムスター 卵巣細胞	原本参照	有効 成分	無	無	無			
2005/6/29	50258	ジェンザイム・ ジャパン株式 会社	イミグルセラゼ(遺 伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	米国、カ ナダ	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50259	全薬工業株 式会社	リツキシマブ(遺伝子 組換え)	ペプトン	ウマの脾臓、脛、ウシの 心臓、脾臓及びブタ のラドウォーターをブタ のパンクレアチン及び	米国、カ ナダ	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50260	全薬工業株 式会社	リツキシマブ(遺伝子 組換え)	ラドウォーター	ブタ	米国、カ ナダ	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50261	全薬工業株 式会社	リツキシマブ(遺伝子 組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カ ナダ	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50262	全薬工業株 式会社	リツキシマブ(遺伝子 組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	カナダ、 米国、 ニュー ジーランド	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50263	全薬工業株 式会社	リツキシマブ(遺伝子 組換え)	D-ガラクトース	ウシの乳汁	米国	製造 工程	無	無	無			
2005/6/29	50264	全薬工業株 式会社	リツキシマブ(遺伝子 組換え)	パンクレアチン	ブタの膵臓由来	米国、カ ナダ	製造 工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/29	50265	全業工業株式会社	リツキンマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシの血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50266	ワイズ株式会社	エタネルセプト(遺伝子組換え)	①仔ウシ血清②ウシランスフェリン③チャイニーズハムスター卵巣細胞	①ウシ血液②ウシ血液③チャイニーズハムスター卵巣	①米国②ニュージーランド③不明	製造工程	有	有	有	BSE	Health Canada:18(2)14 Jan 2005	カナダにおける2頭目及び3頭目のBSE報告
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005:80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
2005/6/29	50267	バクスター株式会社	該当なし	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	製造工程	無	有	無			
2005/6/29	50268	バクスター株式会社	該当なし	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ又はニュージーランド	有効成分・添加物	無	有	無			
2005/6/29	50269	バクスター株式会社	該当なし	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50270	バクスター株式会社	該当なし	トロンピン	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50271	バクスター株式会社	該当なし	ヒト凝固性たん白質(フィブリノゲン加第XⅢ因子)	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50272	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50273	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/30	50274	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製造工程	有	無	無	E型肝炎	Transfusion 2004;44(6):934-40	海外渡航歴が全くない67歳の日本人男性患者が、23名のドナーからの輸血を受け、その後に原因不明の急性肝炎に罹患した。急性期の患者の血液サンプルの肝炎ウイルスマーカーを調べたところ、HEV抗体のIgMとIgGだけでなく、HEVのRNAも含んでいた。また、輸血したFFPユニットの1つからもHEV RNAを検出した。患者とドナーのPCR産物は、ORF1内の2つのHEVに特長的な領域が完全な同一性を示した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	厚生労働省ホームページ H16年12月22日	国内(京都)で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関連して、防疫作業従事者等を対象に血清抗体価等の調査を行った結果、対照群と比較して抗体陽性率が高かった。このことから、長期にわたり組織的な感染防御なしに病鳥との接触や汚染環境との接触などが行われていたことから、個人防護具の着用なしに作業に従事していたことにより高率に感染が起こった可能性が示唆された。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
2005/6/30	50275	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン 乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分屑	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	E型肝炎	Transfusion 2004;44(6):934-40	海外渡航歴が全くない67歳の日本人男性患者が、23名のドナーからの輸血を受け、その後原因不明の急性肝炎に罹患した。急性期の患者の血液サンプルの肝炎ウイルスマーカーを調べたところ、HEV抗体のIgMとIgGだけでなく、HEVのRNAも含んでいた。また、輸血したFFPユニットの1つからもHEV RNAを検出した。患者とドナーのPCR産物は、ORF1内の2つのHEVに特長的な領域が完全な同一性を示した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											鳥インフルエンザウイルス	厚生労働省ホームページ H16年12月22日	国内(京都)で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関連して、防疫作業従事者等を対象に血清抗体価等の調査を行った結果、対照群と比較して抗体陽性率が高かった。このことから、長期にわたり組織的な感染防御なしに病鳥との接触や汚染環境との接触などが行われていたことから、個人防護具の着用なしに作業に従事していたことにより高率に感染が起こった可能性が示唆された。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/30	50276	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥ペブシン処理人免疫グロブリン	ペブシン	ブタ胃粘膜	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2156-60	米国においてブタから七面鳥へのH3N2インフルエンザウイルスの異種間伝播が確認された。
2005/7/1	50277	興和株式会社	ウロキナーゼ	精製ゼラチン	ウシの骨、ブタの皮	ウシの骨(インド)、ブタの皮(日本)	添加物	無	無	無			
2005/7/1	50278	興和株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	有効成分	無	無	無			
2005/7/5	50279	鳥居薬品株式会社	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Aspergillus fumigatus		有効成分	無	無	無			
2005/7/5	50280	鳥居薬品株式会社	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Cladosporium cladosporioides		有効成分	無	無	無			
2005/7/5	50281	鳥居薬品株式会社	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Alternaria kikuchiana		有効成分	無	無	無			
2005/7/5	50282	鳥居薬品株式会社	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans		有効成分	無	無	無			
2005/7/5	50283	鳥居薬品株式会社	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Penicillium luteum		有効成分	無	無	無			
2005/7/6	50284	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンボプラステン	ウシ又はブタの肺	ウシ: ニュージーランド、ブタ: デンマーク	製造工程	無	無	無			
2005/7/6	50285	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンピン	ウシの血液	ニュージーランド、米国、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
2005/7/8	50286	株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	髄膜炎感染	WHO /CSR 2005年1月11日	フィリピン保健省が、髄膜炎菌様疾患による患者33名の内、19名が死亡した(致死率58%)
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005;20(2):447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザ(H5N1型)の症例が報告された。
											HTLV	Reuters News 2005年2月26日	今までヒトでは感染が確認されていなかった2種類のTリンパ球向性ウイルス(HTLV-3, HTLV-4)が初めて人から分離された。
											マールブルグ病	WHO /CSR 2005年3月31日-4月22日	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
2005/7/11	50287	株式会社 科薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	無	無	無			
2005/7/11	50288	株式会社 科薬	トロンピン	トロンボプラスチン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	無	無	無			
2005/7/12	50289	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分	有	無	無	サルパルボウイルス	J of Infectious Diseases 2004;190(11)1900-7	サルのパルボウイルス病が潜在的な人畜共通の伝染病と認識することに関する研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											A型肝炎	AABB Weekly Report 2004;10(44) 3	米国血液銀行協会(AABB)は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルス(HAV)の流行に曝露された可能性のある供血者の取扱いについて、HAVに最後に曝露された可能性がある日から120日間供血停止することを勧告する。また、供血者がHAVに曝露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	RIVM rapport 630940003. Bilthoven: RIVM	2003年、オランダのH7N7鳥インフルエンザアウトブレイクコントロール期間内のリスクファクター、健康、福祉、ヘルスケアニーズと予防措置に関する調査結果。調査対象となった養鶏場従業員関係者の約千人が鳥インフルエンザに感染していた。調査結果の主な内容:①抗ウイルス薬のオセルタミビルは感染防御効果が見られたが、マスクやゴーグルでは見られなかった。②発症した453人の主要症状は結膜炎で、そのうち89人から鳥インフルエンザウイルスが検出され、そのうち3人は家禽との接触はなく、感染した人との接触のみであった。③感染した家禽業者と接触した家族の59%で抗体が検出された。④流行中感染した家禽と接触した500人のうち約50%に抗体が検出された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005; 20(2)447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(7):686-91	H5N1インフルエンザの臨床スペクトルに属する疾患について、これまで考えられていた範囲よりも、より広い範囲にわたるものであることが示唆された事例。
											ニパウイルス	Health and Science Bulletin,2(2),2004	2004年2月19日~4月16日にバングラデシュ Faridpur地区の住民36人がニパウイルスに感染し、27人が死亡した。患者23人の血清中にニパウイルスのIgM抗体が確認され、患者数名の喉拭き取りサンプルからニパウイルスRNAが検出された。濃厚接触のあったこれらの患者の家族間などに飛沫感染によると思われるヒトからヒトへのニパウイルス感染拡大が見られた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ハンタウイルス	Microbiology and Immunology 2004;48 (11):843	2000年～2003年の日本各地におけるげっ歯類のハンタウイルス感染についての疫学調査結果。
											HTLV	The New York Times, February 26, 2005	アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起すウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性がある。第12回Annual Retrovirus Conferenceにおいて公表された。これらのレトロウイルスをHTLV-3及びHTLV-4と名づけたが、従来のHIVやHTLVと似ているのかまだ判っておらず、ヒトにどの程度伝播するのかカメルーンのヒト4000人について更に検査する計画である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	PNAS,102(9),3501/2005	CDI法はプロテアーゼ処理の必要が無い測定法であるために、プロテアーゼ抵抗性プリオン蛋白質(rPrPsc)もプロテアーゼ感受性プリオン蛋白質(sPrPsc)も両方の異常プリオン蛋白質(PrPsc)を測定できる唯一のイムノアッセイ法である。大多数のイムノアッセイ法では、孤発性CJD(sCJD)患者の脳の灰白質及び白質の両方で全PrPscの90%あまりを占めるsPrPscが正常プリオン蛋白質(PrPc)を除去するためのプロテアーゼ処理中に消化されてしまうことにより、PrPsc量を過小評価することになることが明らかとなった。孤発性CJD患者8人から18の脳部位が組織学法、免疫組織化学法(IHC)、CDI法で検索したところ、それぞれ3部位(17%)、4部位(22%)、18部位(100%)が陽性であり、CDIはより高感度であるため、IHCが免疫診断技法の中でスタンダードとして使用されるべきでない。扁桃や虫垂がIHCによってのみ評価されているため、検出しそこなっている可能性がある。多数のプリオンサンプルをCDIで検査することによって、プリオン病の疫学が変わるかもしれない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年3月23日	アンゴラにおけるウイルス性出血性熱の流行の病原体は、マールブルグウイルスであることが確認された。3月21日に死亡した12症例のうち9例からこのウイルスが検出された。2004年10月以降現在まで102名が感染し、95名が死亡している。これまでにマールブルグウイルス感染症例は、1967年にウガンダから輸入した感染サルに接触したドイツ及びユーゴスラビアの検査技師31人(7人死亡)、1975年にジンバブエで3人(1人死亡)、1980年にケニアで2人(1人死亡)、1987年にケニアで1人(1人死亡)、1998年～2000年にコンゴで149人(123人死亡)が報告されている。このウイルス感染症の発生は大変まれでアフリカ大陸南部の国に限定されるように思われる。ヒト-ヒト感染が可能で、患者のケア中にしばしば起きる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	International Journal of Epidemiology 2005;34:46-52	フランスはvCJD症例数が世界で2番目に高い国であり、英国から輸入した牛肉(英国の牛肉総輸出量の60%がフランスに輸出)によるBSEの曝露がその主な原因と考えられる。フランスにおける将来のvCJD発症数を、感染性のある牛肉製品の接種量や1980～1995年に英国に滞在した期間などのシミュレーションから予測した。シミュレーション結果から将来のvCJD発症数は33症例と予測された。英国での滞在期間はvCJD発症数に影響を及ぼさなかった。
											マラリア	Vox Sanguinis 2005 ;88(3):200-1	現在のドナー選択ガイドライン基準を満たし、また8年間以上英国を出国していないガーナからの供血者による輸血マラリア感染
											ウエストナイルウイルス	GBER Guidance for Industry April 2005	本ガイダンス案は、FDAが先に発行した2003年5月付のWNV感染した血液ドナーに関するガイダンスの改訂案である。今回は「発熱を伴った頭痛」を有するドナーは供血禁止とされず、また、再登録には個別NATで陰性の確認が必要などの変更点があげられている。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4): 500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果。米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2005;121(2):195-206	異常プリオン蛋白質をIn vitroで生成することができ、プリオン伝播が蛋白質のみにより起こる仮説を支持する強力な証拠と考えられる研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministry of Health/Welfare and Sport/Press release, 22/04/2005	オランダで最初のvCJD患者について。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR 2005年5月	2005年1月～4月のベトナム北部におけるヒの高病原性インフルエンザA(H5N1)ウイルスが感染症の疫学パターンが2004年のアジアの他の地域及び同時期のベトナム南部の事例と比べて変化している。疫学的、また、ウイルス学的に所見より、ウイルス進化が継続しているものと考えられる。
											トリパノソーマ症	IASR 2005;26(5):124-5	2004年以降インドでヒのトリパノソーマ症が発見された。
2005/7/14	50290	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	ベニロン: 米国、献血ベニロン-I: 日本	有効成分	有	有	無	A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											鳥インフルエンザウイルス	厚生労働省ホームページ H16年12月22日	国内(京都)で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関連して、防疫作業従事者等を対象に血清抗体価等の調査を行った結果、対照群と比較して抗体陽性率が高かった。このことから、長期にわたり組織的な感染防御なしに病鳥との接触や汚染環境との接触などが行われていたことから、個人防護具の着用なしに作業に従事していたことにより高率に感染が起こった可能性が示唆された。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4):500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果、米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/15	50291	持田製薬株式会社	インターフェロン α	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞	日本	有効成分	無	無	無			
2005/7/15	50292	持田製薬株式会社	インターフェロン α	ウサギ抗血清	ウサギ血液	米国	製造工程	無	無	無			
2005/7/15	50293	持田製薬株式会社	インターフェロン α	ふ化鶏卵で増殖させたセンダイウイルス	ふ化鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
2005/7/15	50294	持田製薬株式会社	インターフェロン α	ハムスターの皮下で増殖させたヒトリンパ芽球細胞	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無			
2005/7/15	50295	持田製薬株式会社	インターフェロン α	マウスハイブリドーマ由来モノクローナル抗体	マウス脾臓	英国	製造工程	無	無	無			
2005/7/15	50296	持田製薬株式会社	インターフェロン β	インターフェロンベータ	ヒト繊維芽細胞	日本	有効成分	無	無	無			
2005/7/21	50297	富士製薬工業株式会社	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	中国、ブラジル	有効成分	無	無	無			
2005/7/21	50298	日本製薬株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子複合体	血液凝固第Ⅷ因子複合体	人血液	日本	有効成分	有	無	無	E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											B型肝炎	共同通信 2004年12月17日	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion 2004;44(12):1695-9	ミニプールでの核酸検査を行ったにもかかわらず、輸血で西ナイルウイルスに感染した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61.	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年3月7日	平成17年3月7日に開催された葉食審・血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年4月4日	英仏滞在者の暫定的な献血制限の方針の経緯、献血者減への影響見込み、輸血によるcCJDの発症リスク、暫定的な措置実施について

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											C型肝炎	共同通信 2005年4月26日	外科手術で使う血液原料をしたシートの組織接着剤でC型肝炎ウイルスに感染した疑いがある事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Paul-Ehrlich-Institut 2005年1月12日	後にvCJDを発症したフランス女性ドナーの血漿が血友病A及び後天性第Ⅷ因子欠乏症などの出血予防及び治療などに用いられる製剤の1バッチに使用された。当該バッチ由来の製品は1997年ドイツ市場に出回っていたが既に回収済みであった。
											C型肝炎	共同通信 2005年5月30日	HCVの混入した血液が日赤のNAT検査をすり抜けて出荷されていた。1999年の高感度検査導入以来、HCVのすり抜けは2例目。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信 2005年5月30日	献血時のvCJD対策については、H17年5月30日の薬事食品衛生審議会血液事業部会運営委員会の結論をふまえ、予防的観点から英国に滞在1日以上(1980～96年)の者の献血禁止措置を6月1日から開始することを決めた。
2005/7/22	50299	三菱ウェルファーマ株式会社	アプロチニン製剤	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050629-0020(News24)	2004年11月に迅速スクリーニング検査で検討されたときにはBSEと診断確定できなかった牛が2005年6月に英国のOIEのBSE委託研究所でウエスタンブロット法と免疫化学法を用いて陽性と確認された。
2005/7/22	50300	アステラス製薬株式会社	パミテプラゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞		製造工程	有	無	無	髄膜炎感染	ProMed20050525-0020(Associated Press)	米国でリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染により臓器移植患者3名が死亡。ドナーはツベットのハムスターから感染した可能性がある。
2005/7/22	50301	アステラス製薬株式会社	パミテプラゼ(遺伝子組換え)	インスリン	ウシ膵臓	オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、米国	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMed20050120-0120(ILO)	南アフリカでウシからの感染が疑われる皮膚炭疽患者3名が発生
											炭疽	ProMed20050120-0110、20050127-0100(The Herald/All Africa)	ジンバブエで炭疽流行により130名が報告され、3名死亡。ウシ、ヤギ80頭以上が死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース)	日本で初のクロイツフェルトヤコブ病患者が確定した。患者は既に死亡。ヨーロッパで摂取したBSE感染牛により感染した可能性。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050422-0060(Reuters Foudation Alertnet)	オランダで最初のvCJD患者について。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMed20050519-0040(アフリカ全土動物資源局)	ギニアで炭疽感染による入院患者13名、死亡4名を含む80名のヒト感染及びウシ126頭の死亡が確認された。
											炭疽	ProMed20050614-0020(Newindpress)	インドで約15名が炭疽に感染した。3名が死亡。
											炭疽	ProMed20050615-0050(All Africa)	ジンバブエでウシから感染が疑われる炭疽流行が再発生した。5名のヒト患者、1名死亡。
2005/7/22	50302	アステラス製薬株式会社	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMed20050120-0120(ILO)	南アフリカでウシからの感染が疑われる皮膚炭疽患者3名が発生
											炭疽	ProMed20050120-0110、20050127-0100(The Herald/All Africa)	ジンバブエで炭疽流行により130名が報告され、3名死亡。ウシ、ヤギ80頭以上が死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース)	日本で初のクロイツフェルトヤコブ病患者が確定した。患者は既に死亡。ヨーロッパで摂取したBSE感染牛により感染した可能性。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050422-0060(Reuters Foudation Alertnet)	オランダで最初のvCJD患者について。
											炭疽	ProMed20050519-0040(アフリカ全土動物資源局)	ギニアで炭疽感染による入院患者13名、死亡4名を含む80名のヒト感染及びウシ126頭の死亡が確認された。
											炭疽	ProMed20050614-0020(Newindpress)	インドで約15名が炭疽に感染した。3名が死亡。
											炭疽	ProMed20050615-0050(All Africa)	ジンバブエでウシから感染が疑われる炭疽流行が再発生した。5名のヒト患者、1名死亡。
2005/7/22	50303	アステラス製薬株式会社	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMed20050120-0120(ILO)	南アフリカでウシからの感染が疑われる皮膚炭疽患者3名が発生
											炭疽	ProMed20050120-0110、20050127-0100(The Herald/All Africa)	ジンバブエで炭疽流行により130名が報告され、3名死亡。ウシ、ヤギ80頭以上が死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース)	日本で初のクロイツフェルトヤコブ病患者が確定した。患者は既に死亡。ヨーロッパで摂取したBSE感染牛により感染した可能性。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050422-0060(Reuters Foudation Alertnet)	オランダで最初のvCJD患者について。
											炭疽	ProMed20050519-0040(アフリカ全土動物資源局)	ギニアで炭疽感染による入院患者13名、死亡4名を含む80名のヒト感染及びウシ126頭の死亡が確認された。
											炭疽	ProMed20050614-0020(Newindpress)	インドで約15名が炭疽に感染した。3名が死亡。
											炭疽	ProMed20050615-0050(All Africa)	ジンバブエでウシから感染が疑われる炭疽流行が再発生した。5名のヒト患者、1名死亡。
2005/7/25	50304	味の素ファルマ株式会社	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	ブラジル	有効成分	無	無	無			
2005/7/26	50305	ゼリア新薬工業株式会社	結核菌熱水抽出物	全卵液	全卵液	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Eurosurveillance Weekly 2005;10(1)	2003年にオランダで鳥インフルエンザH7N7型の相当なヒト-ヒト感染が発生したことを示唆したレポート
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR 2005年2月2日	カンボジアではじめての鳥インフルエンザA/H5の感染例。
											鳥インフルエンザウイルス	Infections in Med 2004;21(11):529	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	共同通信 2005年6月26日	日本で初めて鶏への高病原性トリインフルエンザH5N2型感染が確認された。
2005/7/26	50306	ゼリア新薬工業株式会社	結核菌熱水抽出物	結核菌熱水抽出物	Z-100原液	日本	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Eurosurveillance Weekly 2005;10(1)	2003年にオランダで鳥インフルエンザH7N7型の相当なヒト-ヒト感染が発生したことを示唆したレポート
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR 2005年2月2日	カンボジアではじめての鳥インフルエンザA/H5の感染例。
											鳥インフルエンザウイルス	Infections in Med 2004;21(11):529	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	共同通信 2005年6月26日	日本で初めて鶏への高病原性トリインフルエンザH5N2型感染が確認された。
2005/7/26	50307	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチロビンIII	アンチロビンIII	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	厚生労働省ホームページ H16年12月22日	国内(京都)で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関連して、防疫作業従事者等を対象に血清抗体価等の調査を行った結果、対照群と比較して抗体陽性率が高かった。このことから、長期にわたり組織的な感染防御なしに病鳥との接触や汚染環境との接触などが行われていたことから、個人防護具の着用なしに作業に従事していたことにより高率に感染が起こった可能性が示唆された。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4):500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果、米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。
											髄膜炎感染	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	米国でリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染により臓器移植患者3名が死亡。ドナーはツェットのハムスターから感染した可能性がある。
2005/7/26	50308	富士製薬工業株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	有	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	国内における変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発生について
											トリパノソーマ症	Weekly Epidemiological records No7(2005/02/18)	T. Evansisに起因するトリパノソーマ症のヒト症例が世界で初めて確認された
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministry of Health/Welfare and Sport/Press release, 22/04/2005	オランダで最初のvCJD患者について。
											HTLV	Proceedings of National Academy Science 2005;102(22):7994-9	今までヒトでは感染が確認されていなかった2種類のTリンパ球性ウイルス(HTLV-3, HTLV-4)が初めて人から分離された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/26	50309	富士製薬工業株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	有	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	国内における変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発生について
											トリパノソーマ症	Weekly Epidemiological records No7(2005/02/18)	T. Evansisに起因するトリパノソーマ症のヒト症例が世界で初めて確認された
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministry of Health/Welfare and Sport/Press release, 22/04/2005	オランダで最初のvCJD患者について。
											HTLV	Proceedings of National Academy Science 2005;102(22):7994-9	今までヒトでは感染が確認されていなかった2種類のTリンパ球向性ウイルス(HTLV-3, HTLV-4)が初めて人から分離された。
2005/7/26	50310	日本ケミカルリサーチ株式会社	ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
2005/7/26	50311	日本ケミカルリサーチ株式会社	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	添加物	有	無	有	コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191:492-8	NewHavenコロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが遺伝子配列分析によってオランダで最近報告された新規HCoVと密接に関連していることが明らかになった。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191:499-502	SARSウイルスに近縁な新規発見ウイルスが川崎病の原因になっている可能性がある。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信 2005年2月4日	2005年2月、日本で初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病症例
											デング熱	Nephrol Dial Transplantation (2005)20:447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											トリパノソーマ症	Weekly Epidemiological record No7,18 February 2005	T. Evansisに起因するトリパノソーマ症のヒト症例が世界で初めて確認された
											HTLV	Reuters News 2005年2月26日	今までヒトでは感染が確認されていなかった2種類のTリンパ球向性ウイルス(HTLV-3, HTLV-4)が初めて人から分離された。
2005/7/26	50312	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/26	50313	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス菌	米国	有効成分	無	無	無			
2005/7/26	50314	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、膵臓)	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、膵臓)	米国、オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ	製造工程	無	無	無			
2005/7/26	50315	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	ヒツジ(血液)	ヒツジ(血液)	米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/7/27	50316	アボット・ジャパン株式会社	パリピズマブ(遺伝子組換え)	パリピズマブ(遺伝子組換え)		ドイツ	有効成分	無	無	無			
2005/7/27	50317	アボット・ジャパン株式会社	パリピズマブ(遺伝子組換え)	マウスミエローマ細胞	マウス培養細胞株	米国	製造工程	無	無	無			
2005/7/27	50318	アボット・ジャパン株式会社	パリピズマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/7/27	50319	アボット・ジャパン株式会社	パリピズマブ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/7/27	50320	アボット・ジャパン株式会社	パリピズマブ(遺伝子組換え)	リポプロテイン	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
2005/7/27	50321	アボット・ジャパン株式会社	パリピズマブ(遺伝子組換え)	濃縮リピッド	羊毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/7/28	50322	日本オルガン株式会社	ダナパロイドナトリウム	ダナパロイドナトリウム	ブタの小腸粘膜	ベルギー、ドイツ、フランス、スペイン、オーストリア、オランダ	有効成分	無	無	無			
2005/7/28	50323	日本オルガン株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン 胎盤性性腺刺激ホルモン	①下垂体性性腺刺激ホルモン②胎盤性性腺刺激ホルモン	①更年期婦人尿②妊婦尿	①②オランダ	有効成分	無	無	無			
2005/7/29	50324	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	有	BSE	STATEMENT by USDA	2005年6月29日、米国農務省(USDA)より先週、BSE陽性と判定された牛の群を特定したと発表した。
2005/7/29	50325	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞株	日本	有効成分	無	無	有			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/29	50326	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50327	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵	日本	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50328	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	抗IFN- α モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	不明	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50329	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ハムスター(ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50330	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ブタ由来酵素(センダイウイルスのポリペプトン)	ブタ	日本	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50331	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ウシ乳由来カゼイン(センダイウイルスのポリペプトン)	ウシ乳	中国、ポーランド、オーストリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50332	大塚製薬株式会社	ムロモナブ-CD3	ムロモナブ-CD3	マウス腹水		有効成分	無	無	有			
2005/7/29	50333	大塚製薬株式会社	ムロモナブ-CD3	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ合衆国またはカナダ	製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50334	ヤンセンファーマ株式会社	ムロモナブ-CD3	ウマ血清	ウマ血液		製造工程	無	無	有			
2005/7/29	50335	日本メジフィジックス株式会社	診断薬	ガラクトシル血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			
2005/7/29	50336	ZLBベーリング株式会社	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン	ブタの胃	米国	製造工程	有	無	無	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 2004;104:113-7	ブタTTVはブタの臓器や細胞の異種移植によりヒトへ感染する。ブタTTVはブタでは非病原性であるが、免疫抑制異種移植レシピアントで病原性になる可能性がある。したがって異種移植のブタドナーをスクリーニングすることが重要である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/29	50337	ZLBベーリング株式会社	乾燥濃縮人アンチロ ンビンⅢ	乾燥濃縮人アンチロ ンビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
											人畜共通感染症	QJ Med 2005;98:255-74	ヒトの精神神経疾患におけるBVD感染との関連性について。
2005/7/29	50338	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	アプロチニン	ウシ肺	ニュー ジーランド	製造 工程	無	有	無			
2005/7/29	50339	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国	製造 工程	無	有	無			
2005/7/29	50340	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加 物	無	有	無			
2005/7/29	50341	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャ イニーズハムスター 卵巣細胞株		有効 成分	無	有	無			
2005/7/29	50342	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ 因子モノクローナル 抗体製造用-2)	ウシ肝臓	米国又は カナダ	製造 工程	無	有	無			
2005/7/29	50343	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ 因子モノクローナル 抗体製造用-1)	ウシ血液	米国	製造 工程	無	有	無			
2005/7/29	50344	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	インスリン(抗第Ⅷ因 子モノクローナル抗 体製造用)	ウシ膵臓	米国	製造 工程	無	有	無			
2005/7/29	50345	バクスター株式会社	ルリオクトコグアル ファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清(抗第 Ⅷ因子モノクローナ ル抗体製造用)	ウシ血液	オーストラ リア	製造 工程	無	有	無			
2005/7/29	50346	バクスター株式会社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効 成分	無	有	無			
2005/7/29	50347	バクスター株式会社	人血清アルブミン	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	製造 工程	無	有	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/7/29	50348	バクスター株式会社	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	無	有	無			
2005/7/29	50349	バクスター株式会社	活性化プロトロンビン複合体濃縮製剤	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子阻害物質補正活性複合体	人血漿	米国	有効成分	無	有	無			
2005/7/29	50350	バクスター株式会社	活性化プロトロンビン複合体濃縮製剤	ヘパリンナトリウム	ブタ胃	該当なし	添加物	無	有	無			
2005/8/5	50351	日本オルガン株式会社	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			
2005/8/5	50352	中外製薬株式会社	エポエチンペータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50353	中外製薬株式会社	エポエチンペータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50354	中外製薬株式会社	該当しない	Bacto Tedd Hewitt Broth	ウシ心臓、骨格筋、骨髓、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、膵臓、胃	ウシ:米国、オーストラリア、ニュージーランド、ブタ:米国、イタリヤ、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50355	中外製薬株式会社	該当しない	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50356	中外製薬株式会社	該当しない	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50357	中外製薬株式会社	該当しなし	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/8/5	50358	中外製薬株式会社	該当しない	ストレプトコックスピオゲネス(A郡3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用	-	有効成分	無	無	無			
2005/8/8	50359	ノボルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	該当しない	有効成分	無	有	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/8	50360	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージーランド、米国又はカナダ	製造工程	無	有	無			
2005/8/8	50361	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	有	無			
2005/8/8	50362	ノボノルディスクファーマ株式会社	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ブタ脾臓由来トリプシン	ブタ脾臓(抽出物)	該当しない	製造工程	無	有	無			
2005/8/10	50363	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4):500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果。米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。
											髄膜炎感染	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	米国でリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染により臓器移植患者3名が死亡。ドナーはツベットのハムスターから感染した可能性がある。
2005/8/11	50364	デンカ生研株式会社	発疹チフスワクチン	卵黄嚢	ニワトリの受精卵	該当なし	製造工程	無	無	無			
2005/8/11	50365	日研化学株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無	無	無			
2005/8/12	50366	株式会社ベネシス	人血清アルブミン 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人ハプトグロビン 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/12	50367	株式会社ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	RIVM rapport 630940003. Bilthoven: RIVM	2003年、オランダのH7N7鳥インフルエンザアウトブレイクコントロール期間内のリスクファクター、健康、福祉、ヘルスケアニーズと予防措置に関する調査結果。調査対象となった養鶏場従業員関係者の約千人が鳥インフルエンザに感染していた。調査結果の主な内容:①抗ウイルス薬のオセルタミビルは感染防御効果が見られたが、マスクやゴーグルでは見られなかった。②発症した453人の主要症状は結膜炎で、そのうち89人から鳥インフルエンザウイルスが検出され、そのうち3人は家禽との接触はなく、感染した人との接触のみであった。③感染した家禽業者と接触した家族の59%で抗体が検出された。④流行中感染した家禽と接触した500人のうち約50%に抗体が検出された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005; 20(2)447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(7):686-91	H5N1インフルエンザの臨床スペクトルに属する疾患について、これまで考えられていた範囲よりも、より広い範囲にわたるものであることが示唆された事例。
											ニパウイルス	Health and Science Bulletin,2(2),2004	2004年2月19日~4月16日にバングラデシュ Faridpur地区の住民36人がニパウイルスに感染し、27人が死亡した。患者23人の血清中にニパウイルスのIgM抗体が確認され、患者数名の喉拭き取りサンプルからニパウイルスRNAが検出された。濃厚接触のあったこれらの患者の家族間などに飛沫感染によると思われるヒトからヒトへのニパウイルス感染拡大が見られた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ハンタウイルス	Microbiology and Immunology 2004;48 (11):843	2000年～2003年の日本各地におけるげっ歯類のハンタウイルス感染についての疫学調査結果。
											HTLV	The New York Times, February 26, 2005	アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起すウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性がある。第12回Annual Retrovirus Conferenceにおいて公表された。これらのレトロウイルスをHTLV-3及びHTLV-4と名づけたが、従来のHIVやHTLVと似ているのかまだ判っておらず、ヒトにどの程度伝播するのかカメルーンのヒト4000人について更に検査する計画である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	PNAS,102(9),3501/2005	CDI法はプロテアーゼ処理の必要が無い測定法であるために、プロテアーゼ抵抗性プリオン蛋白質(rPrPsc)もプロテアーゼ感受性プリオン蛋白質(sPrPsc)も両方の異常プリオン蛋白質(PrPsc)を測定できる唯一のイムノアッセイ法である。大多数のイムノアッセイ法では、孤発性CJD(sCJD)患者の脳の灰白質及び白質の両方で全PrPscの90%あまりを占めるsPrPscが正常プリオン蛋白質(PrPc)を除去するためのプロテアーゼ処理中に消化されてしまうことにより、PrPsc量を過小評価することになることが明らかとなった。孤発性CJD患者8人から18の脳部位が組織学法、免疫組織化学法(IHC)、CDI法で検索したところ、それぞれ3部位(17%)、4部位(22%)、18部位(100%)が陽性であり、CDIはより高感度であるため、IHCが免疫診断技法の中でスタンダードとして使用されるべきでない。扁桃や虫垂がIHCによってのみ評価されているため、検出しそこなっている可能性がある。多数のプリオンサンプルをCDIで検査することによって、プリオン病の疫学が変わるかもしれない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年3月23日	アンゴラにおけるウイルス性出血性熱の流行の病原体は、マールブルグウイルスであることが確認された。3月21日に死亡した12症例のうち9例からこのウイルスが検出された。2004年10月以降現在まで102名が感染し、95名が死亡している。これまでにマールブルグウイルス感染症例は、1967年にウガンダから輸入した感染サルに接触したドイツ及びユーゴスラビアの検査技師31人(7人死亡)、1975年にジンバブエで3人(1人死亡)、1980年にケニアで2人(1人死亡)、1987年にケニアで1人(1人死亡)、1998年～2000年にコンゴで149人(123人死亡)が報告されている。このウイルス感染症の発生は大変まれでアフリカ大陸南部の国に限定されるように思われる。ヒト-ヒト感染が可能で、患者のケア中にしばしば起きる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	International Journal of Epidemiology 2005;34:46-52	フランスはvCJD症例数が世界で2番目に高い国であり、英国から輸入した牛肉(英国の牛肉総輸出量の60%がフランスに輸出)によるBSEの曝露がその主な原因と考えられる。フランスにおける将来のvCJD発症数を、感染性のある牛肉製品の接種量や1980～1995年に英国に滞在した期間などのシミュレーションから予測した。シミュレーション結果から将来のvCJD発症数は33症例と予測された。英国での滞在期間はvCJD発症数に影響を及ぼさなかった。
											マラリア	Vox Sanguinis 2005 ;88(3):200-1	現在のドナー選択ガイドライン基準を満たし、また8年間以上英国を出国していないガーナからの供血者による輸血マラリア感染
											ウエストナイルウイルス	GBER Guidance for Industry April 2005	本ガイダンス案は、FDAが先に発行した2003年5月付のWNV感染した血液ドナーに関するガイダンスの改訂案である。今回は「発熱を伴った頭痛」を有するドナーは供血禁止とされず、また、再登録には個別NATで陰性の確認が必要などの変更点があげられている。
											ウイルス感染	Transfusion 2005;45(4): 500-3	米国で1986年から1990年に輸血による病原体の感染率の研究に参加した患者406例から術前と術後6ヶ月目に血清採取しHHV-8の血清状態を測定した結果。米国における血液製剤を介したHHV-8伝播を示唆する最初の報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2005;121(2):195-206	異常プリオン蛋白質をIn vitroで生成することができ、プリオン伝播が蛋白質のみにより起こる仮説を支持する強力な証拠と考えられる研究。
2005/8/12	50368	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	インスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日刊薬業第11740号 20051月3日28日付	薬食審査会はワイスの間節リウマチ治療薬「エンブレル」投与中にCJDを発症した海外症例2例について審議し、vCJDである可能性は低いと考えられるため、販売を見合わせる根拠とはならないと判断した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	UCDA STATEMENT 2005年6月29日付	米国農務省によると、2005年6月第4週にBSE検査陽性と同定されたウシについてDNA検査お行い、このウシはテキサス州内で飼育され、年齢が12歳前後であったことが確認された。
2005/8/12	50369	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	ウシ血清	ウシ血液	ニュージージーランド	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日刊薬業第11740号 20051月3日28日付	薬食審査会はワイスの間節リウマチ治療薬「エンブレル」投与中にCJDを発症した海外症例2例について審議し、vCJDである可能性は低いと考えられるため、販売を見合わせる根拠とはならないと判断した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	UCDA STATEMENT 2005年6月29日付	米国農務省によると、2005年6月第4週にBSE検査陽性と同定されたウシについてDNA検査お行い、このウシはテキサス州内で飼育され、年齢が12歳前後であったことが確認された。
2005/8/12	50370	持田製薬株式会社	インターフェロンα	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	オーストラリア	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日刊薬業第11740号 20051月3日28日付	薬食審査会はワイスの間節リウマチ治療薬「エンブレル」投与中にCJDを発症した海外症例2例について審議し、vCJDである可能性は低いと考えられるため、販売を見合わせる根拠とはならないと判断した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	UCDA STATEMENT 2005年6月29日付	米国農務省によると、2005年6月第4週にBSE検査陽性と同定されたウシについてDNA検査お行い、このウシはテキサス州内で飼育され、年齢が12歳前後であったことが確認された。
2005/8/12	50371	持田製薬株式会社	インターフェロンα	人血清アルブミン	ヒト血液	①②③米国、④日本	添加物・製造工程	有	無	無	ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191(4):499-502	New Haven コロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが典型的な川崎病の6ヶ月令の小児の呼吸器分泌液に存在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
											レトロウイルス	Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005	これまで人間では感染が認められていなかったレトロウイルス(HTLV-3及びHTLV-4)がカメルーンで日常的にサルを狩猟している人々から発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005;11(8):7-8	モロッコで最初のvCJD患者について。この男性は定期的にヨーロッパを訪問していた。
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年4月21日	2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	オランダで最初のvCJD患者について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministerio da saude Direccao-Geral da Saude Comunicado, lisboa (2005年6月9日付)	保健監督局に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病のはじめての可能性例が検査診断結果と共に報告された。この他には本疾患の症例はなく、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が疑われるような症状の例もないとの通知書。
2005/8/12	50372	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	トリプシン	ブタ膵臓	-	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	OIE 2005年5月27日号 Vol.18 No.21	インドネシアBanten州の2つの村で、ブタにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスタイプH5N1感染のアウトブレイクが報告された。
2005/8/12	50373	持田製薬株式会社	インターフェロンβ	カルボキシペプチダーゼ	ブタ膵臓	米国	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	OIE 2005年5月27日号 Vol.18 No.21	インドネシアBanten州の2つの村で、ブタにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスタイプH5N1感染のアウトブレイクが報告された。
2005/8/12	50374	持田製薬株式会社	日本薬局方ヘパリンナトリウム注射液	日局ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	フランス	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	OIE 2005年5月27日号 Vol.18 No.21	インドネシアBanten州の2つの村で、ブタにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスタイプH5N1感染のアウトブレイクが報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/12	50375	株式会社日本生物製剤	胎盤加水分解物	胎盤加水分解物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	無	HIV感染、C型肝炎	日経新聞 2004年12月19日	厚生労働省の調査によると、日本におけるHIV患者4877例のうちの20%近くがC型肝炎ウイルス(HCV)に感染。血液製剤を介して感染したHIV患者811例のほぼ全員がHCVに感染。日本には推定150万人のHCV感染患者がいる。
											C型肝炎	英国保健省 Publications and statistics, 2004/0426、2004年12月8日	C型肝炎についての新たな公衆衛生キャンペーンが今後2年間にわたり、C型肝炎の知識を増加し、ウイルスの伝播様式、感染症回避するための啓蒙が行なわれる予定。イングランドでは約20万人が慢性感染だが、多くは感染に気がついていないこと、症例の約55%が治療に対して反応するため、リスクが高い患者は検査を受けることが重要であることなどが記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省 Publications and statistics, 2004年12月6日	2004年12月6日現在での変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の死亡症例、生存症例等の概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	SCIEH Weekly Report, Vol.38 (2004/49) 300 (2004)	2004年12月1日、スコットランド首席医務官がスコットランドのNHSに対してクロイツフェルト・ヤコブ病および牛海綿状脳症(BSE)のような伝達性海綿状脳症(TSE)の安全な取り扱いに関する医療従事者および研究所従事者に対するガイダンスが更新され、イングランド保健省のCJDウェブサイトで発表されたと通知する書簡を発行したことなどについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	SCIEH Weekly Report, Vol.38 (2004/49) 300 (2004)	2004年11月22日、英国人獣共通感染症報告書(2003年)が発行された。人獣共通感染症には食品媒介感染症・水系感染症のCampylobacter, Salmonella, ペロ毒素産生 Escherichia coli O157(VTEC O157) および Cryptosporidium, および動物の主な届出人獣共通感染症である牛結核、ブルセラ症、炭疽、狂犬病およびBSEなどを調査対象としている。またトリインフルエンザ、西ナイルウイルスについての項目も設けられている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed.2004年12月6日	輸血用血液の安全性確保に関して懸念が高まっているが、英国国立血液サービス(English National Blood Service)の国立輸血微生物学研究所によれば、vCJDの病因である感染性の異常プリオンが、輸血によって伝播される可能性を示唆する証拠が増えている。London大学の研究チームによる、ヒトプリオン蛋白発現トランスジェニックマウスへの異常プリオン感染実験の結果、すべてのヒトがBSEの異常プリオンに感受性があると判明。プリオン病は、トランスジェニックマウスでの遺伝子型によって表現型が変化する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed.2004年12月8日	1986年にBSEが同定されて以来、183000頭以上のBSE症例が英国内で確認された。そのうちの95%以上が2000年以前に確認されたが、今年の新規症例数は最低レベルとなっている。日本の動物衛生研究所は94ヵ月令のBSEウシの末梢神経組織と副腎から、BSEの原因物質である異常プリオン蛋白を検出。ポルトガルの生きたウシ、牛肉および関連する家畜製品輸出制限が解除された。
											HIV	WHO Weekly epidemiological record, Vol.79, No. 50, 441-449-2004	WHOおよびUNAIDSは2004年末のHIV/AIDS感染者(PLWHA)は3940万人(3590万~4430万人)となると推定している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	SCIEH Weekly Report, Vol.38 (2004/50) 304 (2004)	2004年12月1日、スコットランド大臣は高令のウシに関しフードチェーンへの入り込みの自動的な禁止を解除し、かわりに正確なBSE検査レジメンに置き換える考えを発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.tga.gov.au/docs/html/tsepolicy.htm	医薬品および医療用具を介した伝染性海綿状脳症(TSE)リスク低減へのTGAの取り組み(新製品の申請には動物およびヒト由来製品においてはBSEの発生していない国の原料を使用すること、これが不可能な場合には材料のTSEの安全性の評価を行うことなど)、医療用製品におけるTSEリスク低減の要件の追補。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed.2004年12月11日	フランス産ヤギでウシ海綿状脳症(BSE)疑い所見が得られたとの欧州委員会による発表を受けて、EC規則999/2001に対する妥当な改正案に関してコメントが求められていた。こうした規則改正は、感染疑い動物でBSEが診断確定した場合にのみ実施される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new12-17.htm	血液採取施設に対し、共通感染源によることが知られているまたは疑われているA型肝炎(HAV)感染のアウトブレイクに関連しているドナーおよび血液製品の管理についての情報が提供される。HAVへ最後に暴露された可能性のある日から120日間、献血は延期しなければならない
											HIV	HIV and AIDS in african communities.英国保健省2005	英国におけるHIVおよびAIDSはアフリカ人コミュニティに偏っており、これは英国における流行パターンにも反映されていることなどについて記載されている。
											HIV	CDRWeekly,Vol.14 No.52 (2004)	英国のデータでは、2004年の第3四半期までに3302例のHIV感染の新規診断および報告があり、1982年以降英国における総HIV診断数は66554例になったこと、現在までに20778例がAIDSと診断されていること、感染経路(男性間の性交渉、静注薬物使用者など)、感染地域などについて記載されている。
											C型肝炎	Pro Med.2005/1/5	当局は、C型肝炎で死亡した患者の感染源を、負荷試験や他の通常の診断検査時に血液中に注射される放射線同位元素テクネチウム99m(99mTc)の注射が感染源であったと追跡した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med2005/1/2	カナダ食品検査局(CFIA)は、アルバータ州の高齢の乳牛が検査で牛海綿状脳症(BSE)陽性となったことを確認した。このウシは、飼料規制以前に汚染された飼料から感染したと考えられている。
											A型肝炎	Pro Med2004/12/27	ムルマンスク地域のApatit市民130名がA型現時点で肝炎と診断されている。患者数は日に日に増加し、疫学者らは、上水道が感染源であると示唆している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med2004/12/30	カナダ食品検査局は、新たなBSE疑い症例を検知したと発表。12月30日午前発表。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information,Vol. 18 No.2 2005/1/7	民間の獣医師が「歩行不能」"downer"ウシを報告し、牧場レベルでの4Dすなわち、病気、瀕死、歩行不能および死亡したウシに重点を置いた牛海綿状脳症監視計画の一環として検体を採取した。マニトバ州Winnipegの国立外来性動物疾患センターにて免疫組織抗体法で検査確定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www1.agric.gov.ab.ca/\$department/deptdocs.nsf/all/afs3781?open document	2003年5月に初めて確認されて以来、2例目のBSE症例がカナダのアルバータ州において最近発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省.Press Release	2005年1月10日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med 2005/1/11	狂牛病のヒト感染型(vCJD)に罹患した男性が、合法的に実験的医学治療を受けることが認められた。治験薬のポリ硫酸ベントサンの使用許可を裁判所に申請。治療法がない患者とはみなされなくなった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release、2005年1月11日	カナダ食品検査局(CFIA)は2005年1月11日、カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7才未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Newsroom Release No0007.05	動植物衛生検査局獣医師責任者Dr. Ron DeHavenの、米国での最初のBSE感染症例が、今回のウシと同じアルバータ州産集団由来であったことなどの声明。))
											E型肝炎	Pro Med 2005年1月7日	今年ムンバイ市内では、黄痘性E型肝炎ウイルス感染が、市の南部で猛威を振るっていると医療関係者が指摘している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol. 18 No.2 2005年1月14日	アウトブレイクは、2004年12月17日、Alberta州Edmonton地区の農場にて発生。98ヵ月令のホルスタイン種のウシと確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA TSE advisory committee 告知、2005年2月8日	伝達性海綿状脳症(TSE)諮問委員会は、血漿由来製品における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)病原物質への暴露の可能性に関するリスク評価、英国在住のドナーの血漿から1990年代に製造された治験用血液凝固因子第XI因子のvCJDリスク、および、フランスおよび他のヨーロッパ諸国における輸血歴のある血液および血漿ドナーの据え置きの可能性について検討する会合予定を発表(2005年2月8日開催予定)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											感染	Daily Yomiuri 2005年1月11日	通常のスクリーニングの一環として、日本赤十字社は今後4週間献血者に胎盤エキス注射の使用歴について質問をする予定。胎盤エキスを注射した血液には伝染性の病原体が含まれる可能性があるため、最近、東京の女性が急性肝炎を発症したことから。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	カナダ公衆健康局2005年1月11日	2005年1月11日、カナダ食品検査局(CFIA)はカナダのウシにおける3症例目の牛海綿状脳症(BSE)を確定した。vCJDのQ&Aも記載。
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/aids-sida/hiv_aids/	2004年 HIV/AIDS戦略的アプローチに関するカナダの報告—対処の再開(2004年12月1日)、カナダ全国に対するHIV/AIDSアクションプランを共に導こう(2004年~2008年)(2003年11月14日更新)などが掲載されています。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	KATHIMERINI.オンライン版English Version 2005年1月19日	2004年前半に、ギリシャ国内のヤギ12頭が、脳変性疾患であるスクレービーに罹患したと確認された。この他8頭がキプロスで、26頭がフランスで確認された。これは2005年1月18日に公開されたEU統計により判明した。なおEU全域で検査されたヤギは17294頭。
											A型肝炎	Kaliningrad国営ラジオ・テレビオンライン版、2005年1月12日	2005年1月初旬以降、Kaliningrad地域Sovetsk市において(成人・小児合わせて)約30名が、A型肝炎に罹患した。大部分の感染者は、汚染された野菜やフルーツを摂取して感染した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol. 18 No. 3 2005年1月21日	2005年1月11日、アルバータ州のRed Deer地区の農場でBSEのアウトブレイクが確認されたウシのアウトブレイクの原因または感染源は、不明もしくは結論に到達していない。
											A型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No.4 (2005) 2005年1月27日	2004年第3四半期は、HPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)にA型肝炎の検査報告が131例されており2003年の第2四半期よりも46%少ないこと、2004年第2四半期に比べA型肝炎の総報告数は5%増加していることが述べられている。
											C型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No.4 (2005) 2005年1月27日	2004年第3四半期はHPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)にC型肝炎感染計1921例が報告されたこと、2004年4月~6月の年令別および性別の症例数を記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 4 (2005) 2005年1月27日	2004年第3四半期は、HPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)に急性B型肝炎感染計94例が報告されたこと、2004年7月～9月の年齢別および性別の症例数を記載。
											HIV感染、肝炎	HPS Weekly Report, Vol. 39, (2005/3), 22-23 (2005)	HIV:HIV/AIDSの疫学および治療。2002年末時点で世界で4200万例以上がHIVキャリアー。同年にサハラ以南のアフリカにおいて約2500万例が死亡。スコットランドのHIV感染症の大部分はサハラ以南出身のアフリカ諸国の男性と性交渉を持つ男性および異性愛の男女。肝炎:肝炎の疫学および治療(世界で慢性B型肝炎のキャリアーが350万例以上、英国は流行の低い地域と考えられており、慢性B型肝炎の罹患率は0.1%以下、スコットランドでのC型肝炎は主に静注薬物使用者における伝播。
											HIV感染、C型肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39, (2005/3) 21-22, (2005)	Scottish National Blood Transfusion Service (SNBTS)による献血血液の検査において278054の血液中計39で血液媒介感染症の陽性マーカーが確認されたこと、39件の感染血液はHCVが23件、HBVが8件、HIVが3件、過去の梅毒が5件であった。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/3),18-20 (2005)	2004年はHPAにHIVの診断365件が報告され、過去最高。男性と性交渉を持つ男性(MSM)および異性愛者における診断は2003年より多く、MSMにおける診断数の増加の主な理由はHIV検査受診者の大幅な増加によること、異性愛者の男性および女性におけるHIV診断数の増加はHIVの感染率が高いサハラ以南(ジンバブエなど)からスコットランドにきた人々の増加によることなどを記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report, Vol.39, (2005/3), 10 (2005)	英国の1990年代における感染に関連したvCJDによるさらなる死亡は比較的少ない、英国におけるvCJDの発生は減少、リンパ網内系細胞組織の調査結果により、臨床データの予想よりも実質的に高いvCJD有病率が示された。現在のところvCJD症例の予測は不確実なままである(輸血を介した感染症例が最近確認されたことから)ことなどについて記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol. 39, (2005/3), 9-17-2005	HIV報告数4119例, AIDS症例数1238例, 死亡総数1402例, AIDSIによる死亡数854例、2004年10月1日から2004年12月31日までの四半期に、NHSスコットランド研究所は以前はHIV陽性と登録されていなかった91名のHIV抗体検査陽性結果を報告した。現在のHIV陽性者の累積総数は4219例。少なくとも1402例が死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/ndmr-rmmdo/index.html	・2004年9月の地域別の法定伝染病数 (Preliminary)・法定伝染病の累計総数グラフ (2003年および2004年の1月～9月, 2004年9月) (Preliminary) ; 死亡年 (2003年および2004年) ことのCJD確定例数 (2004年5月1日現在) などが記載されている。
											肝炎	Pro Med 2005年1月22日	Kottayam地区当局は、死亡患者10名を含む最多の患者数を報告した。現地の医科大学では、500名以上の肝炎患者を治療している。汚染された水源が肝炎感染拡大の主要な感染源。もしこの医科大学の貯水槽が汚染され、Kottayam地区での感染源になっているとすれば、汚染された各地のため池がThrissur地区やAlappuzha地区の感染源である。Dr Jeevanによれば、[水源が確認できないため]飲食場所の急増を検査する必要がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Press Releases, 2005年2月2日	フランスのヤギにおけるBSEの初症例の発生が確定された。2004年11月にフランス当局がOIEに対し、2002年に処分された際に2.5才であった問題のヤギについて報告したこと、一緒に飼育されていた600頭のヤギ(成体のヤギ300頭を含む)は全て処分され、成体のヤギはスクレイピーについて検査されたが結果は陰性であったこと、感染したヤギから単離されたスクレイピーはさらに調査が進められていることなどが記載されている。
											感染	European Medicines Agency, Evaluation of Medicines for Human Use. 2005年1月20日	血液伝播性感染症についての疫学的データに関するガイドライン; 感染症マーカー, ドナーのクラス分類, 感染症マーカーのデータの報告, ドナーについての疫学調査と長期的傾向, 残存危険性の評価についてなど記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV感染、肝炎	MMWR Weekly, Vol.54 No.04 89 (2005)	毎年2月7日はNational Black HIV/AIDS Awareness and Information Dayであること、2000-2003年に、米国32州において黒人は人口の13%であったが、これらの州で新たにHIV/AIDS診断された半数以上が黒人であったこと、すべての人種/民族において黒人男性が最もHIV/AIDS診断率が高かったこと、黒人女性も深刻な影響を受けており、2000-2003年にHIV/AIDS診断された女性の約69%が黒人であったことなどについて記載。
											HIV感染、肝炎	MMWR Weekly, Vol.54 No.04, 89-94 (2005)	2003年、米国におけるHIV/AIDS症例の28%が女性で、その約69%が非ヒスパニック系黒人女性であったこと、ノースカロライナ州では新たに報告されたHIV感染の黒人女性における割合が増加し、同州の黒人女性のHIV感染率が白人女性と比較して14倍高かったこと、HIV陽性の女性(ケース群)およびHIV陰性の女性(コントロール群)の行動の違い(薬物、アルコールの使用など)についての調査結果などについて記載。
											肝炎	MMWR Weekly, Vol.54 No.04, 101-111 (2005)	2005年1月29日を最終日とする4つの図表によって示されている。①伝染病別増減率、②伝染病別症例数と前年同期の症例数、③地域別症例数と前年同期症例数。④地域別、年齢別死亡数。
											C型肝炎	CDR Weekly, Vol. 15 No.5 (2005)	CFIにより調整された、第2期C型肝炎の再調査が完了した。2003年の最初の調査において、C型肝炎感染医療従事者(HCW)によりリスクの高い暴露の手技(EPP)が実施された500名の女性が調査され、調査に含まれなかった患者1例がC型肝炎と判明。今回はリスクの高いEPPが実施された住所が分かっている患者2530例および担当した一般医に対して、状況説明およびC型肝炎の血液検査を提案するレターが送付された。
											肝炎	NOIDS Weekly Report, 2005年1月21日	イングランドとウェールズの届出伝染病週報(2005年1月21日までの情報)。29種の届出伝染病について、過去2年間の同時期または最近6週間と比較したデータ、2005年第3週の地域別詳細データなどが報告されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39, (2005/3), 11-18 (2005)	スコットランドにおける累計はHIV報告数4219例, AIDS症例数1238例, 死亡総数1402例, AIDSによる死亡数854例; 2004年の第4四半期に, 91名のHIV抗体検査陽性結果が報告された。同四半期に臨床医よりAIDS症例3例が報告され, AIDSによる1例の死亡が記録された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med 2005年2月3日	フランスのヤギがBSEに罹患したことが確定された。EU加盟国は, EUで飼育されるヤギに対してBSE検査を強化するとして欧州委員会による提案に同意した。オーストラリア産ヤギも検査される可能性が出ている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med 2005年1月25日	2002年にフランスで屠殺されたヤギが狂牛病検査陽性となり, ウシ以外で動物でウシ海綿状脳症(BSE)に感染した世界で初めての動物となった。ヨーロッパ会議はこの症例が単発例であることを確認するための詳しい検査を実施する予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	感染症週報: 7(3)2 (2005)	2005年第3週は, E型肝炎1例, A型肝炎4例, ウイルス性肝炎5例, クロイツフェルト・ヤコブ病2例, 後天性免疫不全症候群17例。定点報告の対象となる5類感染症では, 過去5年間の同時期と比較したグラフ等が掲載されている。
											HIV	感染症週報: 7(3)13-14 (2005)	・日本のAIDS患者・HIV感染者の状況(平成16年9月27日~平成17年1月2日): 平成16年第4四半期報告によれば, 法定報告に基づく新規報告数は, HIV感染者が190件, エイズ患者が93件であった。過去最高であった前回報告からは数字の上では減少している。性別, 感染経路などについても報告している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol.18 No. 5 2005年2月4日	フランスでの, BSEの原因である病原性プリオンタンパク質が同定された。成体のヤギ300頭を含む搾乳用ヤギ群で発見されたヤギのBSE症例1例が発見された。症例は2005年1月28日にOIEのBSEリファレンス研究所などにより確定された。原因は, 不明もしくは結論に到達していない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	http://www.blackaidsday.org/NBHAAD_info_home.htm	Fact Sheetには米国では現在推定80万～90万人のHIV感染症例があり、毎年約4万人がHIVに新たに感染していること、米国において報告されているAIDS症例数(2000年12月現在774467例)、AIDSによる死亡症例数(2000年12月までに448060例)、AIDS症例および死亡の減少の減速などについて記載されています。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4102771&hk=ct891z	2005年2月4日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要。死亡症例、生存症例について
											C型肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/5) 36 (2005)	NHS Ayrshire and Arran(NHSAA)はかつてAyrshire Central and Crosshouse Hospitalsの産婦人科に勤務していた医療従事者がC型肝炎と判明したことを395名の患者に通知し、血液媒介ウイルスへの感染の有無が英国諮問委員会によって実施された。通知されたグループ以外からC型肝炎ウイルスに感染している元患者が判明し、この医療従事者からの感染による可能性があることなどが記載されている。
											肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/05) 34-35 (2005)	2004年にA型肝炎が34件報告され2003年の報告数より23%減少していたことが述べられている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://home.kyodo.co.jp/all/display.jsp?an=20050204911	厚生労働省は2005年2月4日、日本で初の変異型ヤコブ病(vCJD)を確定したと公表した。この日本人男性患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new2-11.htm	寝たきりの50代の日本人男性は、ヒト変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)が原因で最近死亡した際には動いたり歩行することはできなかった:
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, Vol. 15 No.6 (2005)	E型肝炎(日本)、ヤギにおけるBSE(フランス)、などについて記載されています。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/06) 43 (2005)	ニューヨーク市保健精神衛生局(DOHMH)は、急速進行性のHIVの高耐性株である3クラス抗レトロウイルス薬耐性HIV(3-DCR HIV)株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断されたと報告した。3-DCR HIVは、最も一般的に処方されている入手可能な4種類の抗ウイルス剤のうち3種類に対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が短いと考えられている。
											HIV	ProMed、2005年2月14日	先日ニューヨーク市在住の男性から検出された稀で病原性が高いヒト免疫不全(HIV)ウイルスの感染源を確認するため、AIDS患者2人から分離されたHIV(AIDS)ウイルスが解析されている。ニューヨーク市で循環している典型的なウイルス株のそれとはかなり異なっていることが示されているが、それが持つ意味はまだ解明されていないと述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年2月8日	英国政府から1990年にスクレーピーに感染したと診断されたヤギが、実はBSE(狂牛病)であった可能性が出ていると発表された。
											肝炎	ProMed、2005年2月8日	黄疸(肝炎)の流行がUttam Nagar地域の一部地区で発生しており、黄疸患者約65名が2005年2月7日保健省当局チームによって確認された。情報の欠落により現時点では起因病原体の特定に至っていないが、今後汚染された水道水が感染源と証明されれば、A型肝炎またはおおよびE型肝炎の可能性が強まることが記載。]
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年2月7日	英国で将来変異型ヤコブ病による多数の死亡患者が発生する可能性は低いと発表された。異常プリオンは感染動物の脳と神経系にのみ障害を起こすと考えられてきたが、病因となるタンパクがマウスを用いた実験に基づいて、他の臓器にも分布しうることが発表された。血液製剤・輸血による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病暴露の危険性が、FDAの伝染性海綿状脳症諮問委員会の主要な議題であった。感染の危険性を減じる新技術を期待する同委員会の提案に、Pall社がその新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	ProMed、2005年2月7日	ニューヨーク市保健精神衛生局(DOHMH)によれば、急速進行性のHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の高病原性株、3-DCR HIVが、一度も抗ウイルス薬治療を受けたことのないニューヨーク市民で初めて確認された。その他3-DCR HIV株の特性、ニューヨーク市でのHIV/AIDS感染の疫学情報などについて記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年2月4日	厚生労働省は2005年2月4日、日本で初めての狂牛病のヒト変異型(変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD))患者が確定したと発表。この日本人男性が2004年12月にvCJDのため死亡し、この致死性疾患に1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://medilexicon.com/medicalnews.php?newsid=20065&language=spanish	当初ウシ、ヒツジ、および他の動物における感染性プリオンを検出するために考えられた構造依存性イムノアッセイ(CDI)はこれまでの検出法よりもより早くより正確に検出可能。免疫組織化学的手法により科学者らはタンパク酵素に耐性を示す脳内のプリオンを確認することができることなどについて記載。
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 8(2005)	2004年に英イングランドおよびウェールズにおいてHTLV感染症新規診断が83例あったこと、HTLV-1型が94%陽性と最多。感染経路についても記載されている。
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 8(2005)	2004年に新規HIV感染診断5016件が報告され、1982年のサーベイランス開始後英国で報告されているHIV診断総数は68556件になった。現在までに21010例がAIDSと診断され、そのうち16131例が死亡、2004年の新規診断数は7000例近くと高水準、感染経路(2004年に報告されたHIV診断5016件のうち、57%(2860件)が男女間の性交渉であることなど)、診断症例の地域および診断年の表などが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 8(2006)	急速進行性のHIVの高耐性株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断された。3クラス抗レトロウイルス薬耐性HIV (3-DCR HIV) 株は、最も一般的に処方されている入手可能な4クラスの抗ウイルス剤のうち3クラスに対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が非常に短縮されている。英国のHIVセロコンバージョンを示した登録者の分析から薬剤耐性ウイルス感染者と薬剤耐性のないウイルス感染者の間で疾患の進行に違いはないことが示されていること、このことからニューヨーク市の症例の特徴は必ずしも感染したウイルス株の耐性パターンに起因するとは限らないことなどについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canada Public Health Agency, Infectious Diseases News Brief.2005年2月18日	厚生労働省は2005年2月4日、日本人で初めての変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)症例を発表した。症例は2001年12月に初めて神経症状を示し、2004年12月に死亡した40代の男性。患者は1988年に約1ヵ月英国に滞在したことが分かっている(正確な滞在期間はまだ確認されていない)、現在のところ英国滞在中にvCJD感染物質に暴露した可能性が有力である。患者がこれまでに輸血を受けた記録はない。患者が献血をしたことがあるかどうか日本赤十字は調査中。この症例と二次伝播の可能性について更なる調査が行われている。
											HIV	Canada Public Health Agency, Infectious Diseases News Brief.2005年2月19日	急速進行性のHIVの高耐性株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断された。3クラス抗レトロウイルス薬耐性HIV (3-DCR HIV) 株は、3つのクラスの抗ウイルス剤に対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が非常に短縮されているように見える。症例は40才半ばの男性。その後、患者はAIDSを発症した。HIV治療をしている患者における薬剤耐性はますます増加しているが新規診断症例で、以前に治療を受けたことがない患者における3-DCR HIV感染症例は極めてめずらしく、この薬剤耐性とAIDSへの急速な進行の組み合わせのパターンは以前の診断ではなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	ProMed、2005年2月22日	単発の(新型株が原因とされる)AIDS患者に関する警報発令に疑問の声。今回の研究に参加しなかった科学者の一群は、今回の報道を男性1名に限定された事例で警報の必要性はないと速やかに片付けたこと、別の科学者らは、公衆衛生上の発表を正当化させるだけの十分な研究が実施されていないと指摘していること、Moderator注として今回の患者は伝播しにくい稀なHIV変異株に感染して、以前には検知されないほど低頻度で発生した可能性もあること、同様にAIDS発症まで急速に進行したのは、ウイルスの特性ではなく患者の遺伝的特性のためであった可能性もあることなどについて記載。
											B型肝炎C型肝炎	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 301-305(2004)	違法薬物使用歴、過去の静脈注射使用歴とB型肝炎、C型肝炎、HIV感染対策。
											A型肝炎	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 289-293 (2004)	South YorkshireにおけるA型肝炎症例の増加の大部分は静脈薬物を使用している若い男性であった。地域密着型の予防接種プログラム、地区の刑務所での4週間にわたる予防接種キャンペーンなどの結果、A型肝炎の増加は終息
											HIV	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 315-318 (2004)	West Midlands におけるHIV感染症。2566例が報告され、483例(19%)が死亡。大部分が男性で1932例(75.3%)。暴露方法は男性間の性交渉1190例(46.4%)、血液もしくは血液製剤を解しての伝播、薬物使用者における感染、母子間感染などが記載されている。
											A型肝炎	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 362-384 (2004)	A型肝炎、カンピロバクター感染症、コレラ、クリプトスポリジウム症、大腸菌感染症、ジアルジア症、サルモネラ感染症、チフス、パラチフスなどに関するガイドラインが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 387 (2004)	Communicable Disease Surveillance Center (CDSC)はイングランドウェールズおよび北アイルランドにおいて報告されているHIV感染症症例合計58892例のうち、HIV-1感染症症例37961例と比べて、HIV-2感染症の報告を96例しか受けていないこと、2003年に報告に至っていないHIV-2感染症の度合いを推定するために検査室を対象にアンケート試験を実施したところ、2001年～2002年の間に、16サンプルのみがHIV-2陽性(1サンプルはHIV-1に共感染)と判明したが、同時期にCDSCに対して22カ所の検査室がHIV-2陽性(1サンプルはHIV-1に共感染)を確定したと報告したこと(件数の差はアンケートに答えていない検査室から報告されたのではないかと推測している)、CDSCへの定期報告を介して報告に至っていないHIV-2感染症の度合いを評価することは不可能であったことなどが記載されている。
											HIV	CDCR, Vol. 31No.5, 53-55(2005)	性交渉の相手および薬物を共有している相手にHIV/AIDSの状態を伝えない人々は疾病を伝播する可能性がある。輸血・静脈薬物使用・母子感染・針刺し事故・性的暴露などの個々の行動に関連したHIV伝播のリスク、HIV/AIDSの状態を伝えない人々の問題に取り組むための戦略の評価、HIV/AIDSに関する連邦、地方、地域諮問委員会からの勧告の概要を記載。
											HIV	ProMed、2005年2月24日	これまでに抗ウイルス薬治療を受けていないニューヨーク市民で急速に進行する多剤耐性のHIV感染患者1名が診断された。感染伝播されたウイルスのこの特定株に関してはニューヨークでは他の患者は同定されていない。
											B型肝炎	MMWR, Vol.54 No. 9,222-223 (2005)	2003年-2004年
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/as/setRoot/04/10/53/47/04105347.pdf	2005年3月4日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要
											HIV	CDR Weekly,Vol. 15 No. 10(2005)	Health Protection Agency's Centre for Infections (CFI)が、職業的暴露後に医療従事者で発生したHIVセロコンバージョン症例を照合している。看護師、臨床検査室職員、医学生を含む医師(外科医は含まない)などが対象。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年3月8日 http://news.xinhuanet.com/english/2005-03/08/content_2668406.htm	日本の厚生労働省は3月7日に、1980年～1996年に英国およびフランスに1日以上滞在した経験のある人からの献血を断るとした新たな規制を発表していたが、血液供給が不足した場合にはその規制を見直す可能性があることを表明。コンフォメーション依存性免疫アッセイ法(CDI)と呼ばれる検査法は元来、ウシ、ヒツジ、シカその他の動物での病原性たんぱく質プリオンの種々の形を検出するために開発された方法であるが、ヒトの脳組織中のプリオンを特定するだけでなく、標準的な免疫学的検査法よりも迅速かつ正確であることが確認された。
											HIV	WHOニュース.2005年3月24日	WHOが2005年3月24日に発表したGlobal tuberculosis control 2005年報告によると、1990年以降世界における結核罹患率は20%以上減少し、発生率は現在世界6地域中5地域において下降または安定している。明らかな例外はアフリカで、1990年以降HIV感染率の高いアフリカ諸国において結核罹患率は3倍となり、アフリカ大陸全域で年間3-4%上昇していることなどについて記載されている。
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 12(2005)	2005年3月、後期HIV診断と早期死亡率の推定数および割合の国内の傾向に関する報告が発表された。CD4細胞数200/mm ³ 以下と定義される「後期HIV」と診断されたMSMは、HIV診断の1年以内に死亡する可能性が10倍以上であることが示されている。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/11)68(2005)	2005年3月4日までの英国におけるクロイツフェルト・ヤコブ病確定およびその疑い症例の調査データ。2005年になってから2005年3月4日まで18例について調査し、死亡例－散发例:5例、GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome):1例、vCJD確定例:1例、生存のvCJD可能性例－5例。vCJD確定例死亡総数(1995年～2005年3月4日)－149例
											クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/11)68(2005)	1992年～2005年2月4日までの、英国およびスコットランドにおけるBSE確定症例数(2005年(2005年2月4日まで)は英国において3例、スコットランドにおいて1例)。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/publicat/epi-note/index.html	カナダのアボリジニーにおけるHIVについて調査が行なわれ、その流行は下降の徴候を示していないこと、アボリジニーにおける最も一般的なHIV伝播の様式は静注薬物使用であること、アボリジニーコミュニティにおいてアボリジニーの女性がHIV流行の大部分を形成していること、アボリジニーは非アボリジニーよりも若年時に感染しているなどの特徴がある。カナダにおけるHIV/AIDSのパターンに関するより完全な情報およびアボリジニーにおけるHIV検査が予防および管理戦略を導くものとして必要。
											B型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb1105_e.html	血糖管理に関連したB型肝炎ウイルス感染のアウトブレイクによりCDCおよびFDAは1990年以降、指先穿刺用具の個人使用の制限を推奨してきた。最近、長期療養型施設居住者における血糖管理用医療用具の共用などによりHBV感染のアウトブレイク3件が発生した。これらについての調査および以前の報告から、基本的注意および指先穿刺用具に関する推奨は、常に長期療養型施設において実施されていないことが示唆されたことなどについて記載されている。
											HIV	http://www.aegis.com/news/ads/2005/AD050524.html	中国東部の当局は1990年以降に売血をした人々に対するHIV検査の実施を開始。当局はAIDS流行の増加を阻止しようと検査を開始。中国保健省は中国におけるHIV陽性患者は84万人、AIDS患者は8万人と報告している。WHOは感染者数を150万～200万人と推定。
											B型肝炎	Public Health Agency of Canada, 2005/3/22	ベルギーのFlandersにある老人養護施設2カ所において、糖尿病患者におけるfingerstick(血液採取用具)の複数回使用に関連した、急性B型肝炎感染症例4例が最近発見されたこと、米国では、血糖値管理中の不十分な感染管理方法に関連した長期療養型施設の高令居住者におけるB型肝炎のアウトブレイク3件が最近報告されていること、英国の長期療養型施設における最近のB型肝炎のアウトブレイクは現在調査中であるが、伝播様式はいまだに不明であることなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	Public Health Agency of Canada, 2005/3/22	アボリジニーにおけるHIV/AIDSの流行について非アボリジニーと比較されている。概括として、アボリジニーにおけるHIVの流行は下降の徴候を示していないこと、アボリジニーにおける最も一般的なHIV伝播の様式は静注薬物使用であること、アボリジニーコミュニティにおいてアボリジニーの女性がHIV流行の大部分を形成していること、アボリジニーは非アボリジニーよりも若年時に感染していることが示唆され、このことからアボリジニーにおけるHIVの流行は異なる特徴がありカナダのHIV流行を複雑にしている。
											A型肝炎	ProMed, 2005/3/28	Hyderabad (Andhra Pradesh州)でのA型およびE型肝炎流行。2005年3月第4週に渡り、患者100名以上が旧市街の狭い地区1区のみから報告された。患者はA型およびE型肝炎と診断されている。過去数日間では、患者数は増加を続けているが、政府は、新規患者数は減少し始めたとしている。
											肝炎	ProMed, 2005/3/28	肝炎患者数はBaramatiでは348名に、Alandiでは67名に増加したが、国立ウイルス学研究所(NIV)は今回の流行の原因をE型肝炎と特定した。NIV担当官は、5検体が検査でE型肝炎ウイルス陽性となったと述べ、病因ウイルスは汚染された飲料水を介して拡大したと確認した。
											肝炎	ProMed, 2005/3/28	肝炎(黄疸)の流行がBaramatiからPuneへと拡大し、Alandiの住民61名が汚染された飲料水を摂取して感染した。今回の流行は、平行して走る下水管からの漏水による上水の汚染が原因である。流行の原因としてA型およびE型肝炎が共に考えられること
											HIV感染、肝炎	The Tribune、オンライン版2005年3月23日	インドの会計検査院から多くのユニットの血液がHIVおよび肝炎に対する必須のスクリーニングなしに国立病院で患者に輸血されたと最近発表された。複数の医療機関が血液をHIVもしくは肝炎の検査をせずに輸血をしていた。ある病院では、HIVおよび肝炎検査キットが入手できなかったため、検査無しで1235ユニットの血液が使用されたと報告したことなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4107676&chh=q5G1uM	2005年4月1日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要2005年4月1日現在の2005年になってからのCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-11(散发例9, 医原性0, 家族性0, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD1)
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15, No.13 (2005)	050331号で報告した『HIVに感染している男性と性交渉を持つ男性(MSM)における後期診断と死亡率』の記事に掲載された表1の説明の訂正。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年4月4日	United Press International (UPI)社は、1971年に死亡したフランス人女性の脳が変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に合致した病理所見を示しており、脳標本を再検査しているとの情報を入手。もしこの発見が確定されれば、従来考えられていたよりも20年も早くヒトに感染していたことになる。NIHの研究者であったBruce Johnson博士は、2000年にこの女性患者の脳を検査し、変異型CJDの患者脳に認められる組織変化を確認したと証言。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Asahi Weekly, 2005年4月11日	厚生労働省は先月、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の拡大を防止するため1980年～1996年に1日でも英国に滞在した人の献血を禁止する計画を発表したこと、2005年4月11日のASAHI WEEKLYによればこの禁止により今でも少ない血液の供給がこの夏には更に制限されると考えられることなどについて記載されている。
											C型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	2004年第4四半期は、C型肝炎感染計1288例が報告されたこと、2004年10月～12月の年齢別および性別の症例数を記載。
											B型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	2004年第4四半期は、急性B型肝炎感染の検査報告計40件が報告されたこと、2004年10月～12月の年齢別および性別、暴露カテゴリー別の症例数を記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											C型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	Health Protection Agency Centre for infection によって行われるC型肝炎複合週及調査活動において、2004年ロンドン病院の産婦人科で治療を受けた患者にC型肝炎ウイルス感染が確認され、この患者と患者を看護した医療従事者に遺伝子型が同一のウイルスが確認された。この医療従事者が働いていた1981年～2004年にこの医療従事者が関与する暴露の可能性のある処置を受けた全ての患者に対しC型肝炎検査を受けるよう推奨し、確認されている患者に対しレターが送られた。
											A型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	2004年第4四半期は、HPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)にA型肝炎の検査報告が109例されており、2003年の第4四半期よりも46%少ないこと、2004年7月～9月の、年齢および性別の症例数のグラフなど掲載。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/15) 92 (2005)	2005年第1四半期はHIVの診断83件がHPSへ報告され、報告の特徴(率およびリスクカテゴリーの分布)は2004年に観察されたものと一致していること、2004年にHIV感染女性13例が産出しており、これらの症例のHIVの状態は妊娠前は知られていなかったこと、観察結果から全体的に国家の新生児HIV検査は全国を通して実施は成功していることを示していることなどについて記載されている。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/15) 82-89 (2005)	2005年1月1日から2005年3月31日までの第一四半期に、NHSスコットランド研究所は83名のHIV抗体検査陽性が新規に報告された。HIV陽性者の累積総数は4303例、少なくとも1409例が死亡。同四半期に臨床医よりAIDS症例9例が報告され、1例の死亡が記録された。現在、AIDS症例累計数は1247例、その内855例が死亡。英国全体では2004年12月31日までにHIV感染症例68556例およびAIDS症例21010例が報告されている。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/15) 89-90 (2005)	新生児からの乾燥炉紙血(Dried Blood Spot)でのHIV検査を通して、スコットランドの女性53828名のHIV感染症の状態が検査されている。1999年～2004年のスコットランドの出産した女性でのHIV感染症罹患率のグラフ、HIV感染症の傾向についての表なども掲載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年4月15日	ブッシュ政権は4月15日、15か月前に米国初のBSE症例発生を受けて米国農務省(USDA)が使用した規制を緩和し、一部の負傷したウシをヒトの食糧として屠殺することを認める可能性があると発表した。これに対し消費者団体は、BSE(汚染食肉)が食品中に入り込むのを阻止すること目的とした規制のいかなる変更にも反対している。
											HIV感染、C型肝炎	http://www.cber/summaries/natbldfrm041905jg.pdf	2004-2005年の業績(ガイダンス及び規則の制定(バーコード規則、献血における全血および原料用血漿のHIVおよびHCVの核酸増幅検査(NAT))、2004-2005年の継続(血液の安全性に対する新たな脅威:vCJD)、2005年の新規戦略イニシアチブの構築(クリティカルパス)、最近のCBERが協力したScience Supporting Innovation(安全性として西ナイルウイルス検査基準および試薬)などについて。
											HIV	Fhttp://www.sciencemag.org/cgi/content/full/308/5719/184	ブルガリアの看護師が汚染された血液でリビアの小児400例以上を意図的にHIVに感染させたと、リビア政府は主張し、補償をブルガリアに拒否された事からまもなくブルガリアとの通商停止および輸出入禁止を行う予定。リビアは海外の医療従事者が国を不安定にする方法として小児に感染させたと主張。その他はリビアの病院における血液製剤の不十分なスクリーニングおよび滅菌により小児らが感染したと考えている。
											C型肝炎	Evening Times、2005年4月19日	ある産婦人科の外科医が最近C型肝炎であることが判明した。これに伴い、過去23年間にこの医師の治療を受けた患者にリスクがあることが通知され、女性1例が既にC型肝炎検査陽性であったことなどについて記載されている。
											HIV	The Telegraph、2005年4月14日	インドのムザファルナガルの市民が、HIV陽性の9才男児の死亡後、少年が民間の血液バンクから提供された汚染血液からウイルスに感染した疑いから市全体にわたる抗議を行った。2005年4月13日のTelegraphの記事によれば、男児を治療した2名の医師の弁護士は男児は治療を受けた他の病院で感染したと主張したことなどについて記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年4月22日	最近vCJDが診断された患者は、オランダにおいて初めて確認された症例である。政府関係者は他のヨーロッパ当局に対し、患者は献血もしくは組織提供を行っておらず輸血または組織の移植も受けていないこと、この症例が他者に感染を起こす、もしくは他者から感染したとは考えられないと述べた。患者がさらに疾患を伝播した可能性があるか決定するため調査中。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.alertnet.org/thenews/newsdesk/L21710368.htm	2005年4月21日オランダで初の「狂牛病」ヒト患者が報告されたが、オランダ産牛肉を摂食することは安全であると発表された。オランダ内務省はユトレヒト市街中央部の病院に入院中の患者が、異型クロイツフェルト・ヤコブ病と診断されたと公表した。ヨーロッパ当局には事態を通報し、この疾患が他の患者にも感染している危険が無いかどうか調査中であると報じられた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年4月28日	世界中のBSE症例数更新：2004年にBSE発生率が最も高かった2国は、ポルトガル(93.870)と英国(67.796)で従来と同じ。スロバキア、ポーランド、チェコ共和国および日本が前年より高い発生率。オランダでのBSE対策の経緯の情報。
											A型肝炎	MMWR、Vol. 54 No.18, 453-456(2005)	IgM型HAV抗体陽性で最近の肝炎の徴候または症状のない一部の人々については、最近の急性感染症後の持続検査陽性という理由が考えられるが、肝炎の徴候症状がない、3つの調査においてHAV抗体陽性の大部分の人々は感染症の特定のリスクのない高令者であり、再検査を行った大部分はIgM型HAV抗体陰性。他者への感染伝播は報告されていない。よって肝炎特有の症状のない高令者におけるIgM型HAV抗体陽性試験は、偽陽性結果または最近のHAV感染症よりも数ヶ月から数年前に発症したHAV感染症の結果である可能性が高いことが示唆されたことなどについて記載されている。
											肝炎	MMWR、Vol. 54 No.18, 464(2005)	5月はHepatitis Awareness Monthであり、2003年は米国において推定でA型肝炎ウイルス感染症61000例、B型肝炎ウイルス感染症73000例、C型肝炎ウイルス感染症30000例が新規に発生したこと、Hepatitis Awareness Monthについての情報(活動、ウイルス性肝炎の予防および管理など)が掲載されているURLなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4109443&chk=RClc%2BW	2005年4月29日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要:2005年になってからのCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-13(散発例10, 医原性0, 家族性0, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD2)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	NOIDS Weekly Report2005年4月22日	2000年8月から2004年8月31日までのCJD手術インシデント報告数は183件で、47%が散発的なCJD初発症例、28%が変異型CJD初発症例、19%がその他の型のCJDとCJDのリスクにある症例で、報告の7%はCJDが疑われたが最終的には初発症例の診断からは除外された。2004年8月31日までの報告で、手術機器を介してCJDに暴露した可能性のある10件の手術インシデントに関係した患者57名に対して勧告が通知された。地理的に関連している変異型クロイツフェルト・ヤコブ病症例、National Anonamous Tonsil Archive などについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.pei.de/english/professionals/haemat_e_info_050112e.htm	後に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病を発症したフランス人女性ドナーの血漿が、1996年に中間製品に使用されていたことを、2005年1月10日、ZLB Behringはポールエーリッヒ研究所に通知。この中間製品は血友病Aおよび後天性第VIII因子欠損に関連した出血の予防および治療などに用いられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年5月5日	オランダで「狂牛病」のヒト変異型であるvCJDと最近診断された26才女性が5月3日に死亡し、この神経疾患によるオランダ初の犠牲者になったとこの女性が入院していた病院当局が公表。フランスで新たに2名のvCJD患者が発見され、同国における患者総数は11名になったと保健当局が述べた。この患者らに献血歴は無いことなどの記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18,453-456(2005)	IgM型HAV抗体陽性で最近の肝炎の徴候または症状のない一部の人々については、最近の急性感染症後の持続検査陽性という理由が考えられるが、3つの調査において検査結果がHAV抗体陽性であった大部分の人々は感染症の特定のリスクのない高齢者であり、再検査を行った大部分はIgM型HAV抗体陰性であったこと、他者への感染伝播は報告されていないこと、これらのデータから肝炎特有の症状のない高齢者におけるIgM型HAV抗体陽性試験は、偽陽性結果または最近のHAV感染症よりも数ヶ月から数年前に発症したHAV感染症の結果である可能性が高いことが示唆されたことなどについて記載されている。
											肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18,464(2005)	5月はHepatitis Awareness Monthであり、2003年は米国において推定でA型肝炎ウイルス感染症61000例、B型肝炎ウイルス感染症73000例、C型肝炎ウイルス感染症30000例が新規に発生したこと、Hepatitis Awareness Monthについての情報(活動内容、ウイルス性肝炎の予防および管理など)が掲載されているURLなどが記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4109443&chk	2005年4月29日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要:2005年4月29日現在の2005年のCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-13(散発例10, 医原性0, 家族性0, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD2)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/noids/2005/Weeklies/WN0516.PDF	2000年8月にCJDインシデント委員会設立後最初の4年間のCJD手術インシデント報告数、散発的な初発症例、変異型初発症例などがあつた。手術機器を介してCJDに暴露した可能性のある患者57名に対しては勧告が通知された。地理的に関連している変異型クロイツフェルト・ヤコブ病症例、National Anonymous Tonsil Archiveなどについて記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											感染	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new5-27.htm	ヒト細胞、組織、細胞および組織由来製品(HCT/Ps)の暫定的最終規則の発表:ドナースクリーニングと検査、および関連した表示。米CBERは2005年5月25日にヒト細胞、組織、細胞および組織由来製品(HCT/Ps)のドナースクリーニングと検査およびそれに関連した表示(HCT/Psの自己使用を除いて「警告:レピシエントに感染症のリスクを警告すること」など)の暫定的最終規則を発表したことなどについて記載されています。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省Publications and statistics,2005/0201、2005年6月6日	2005年6月3日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要:2005年になってからのCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-18(散発例13, 医原性1, 家族性1, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD2)
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/publicatepc/aids-sida/haic-vsac1204/index.html	カナダにおけるHIV・AIDS、1984年~2004年のカナダの周産期HIVサーベイランスプログラムの報告、カナダにおけるHIV/AIDSによる死亡などについて記載。カナダにおけるAIDS診断の成人女性が占める割合が増加していることなどが記載されている。
											A型肝炎	ProMed、2005年6月9日	Tver地域南西部ではA型肝炎発生は増悪を続け、患者数は、小児75名を含め、352名に達した。6月8日時点で、その他に67名が肝炎症状で入院。このTver地域でのA型肝炎流行が拡大しているため、Moskva川近くの下水を浄化する緊急対策が実施されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月6日	ヨークシャー州のvCJD患者集団発生での4名中の一人であった18歳の少年が1997年3月にvCJDで死亡した。この少年は登録された献血ドナーである事実が隠されていて、供血を受けた7人が追跡された。2004年9月に専門家が、vCJD患者の血液を輸血された事実を知らせるべきだと決定するまで7年間、この事実は隠された。1980年代に脳外科手術によって、患者約50人がCJDに暴露された可能性が出ている。カルテが廃棄されたため多くの患者の特定は困難であった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月6日	国際的なBSE症例更新情報：日本の農林水産省は、2005年6月初旬に採取された検体を解析した結果、北海道鹿追町で飼育されていた4才9ヵ月令のウシがBSEに感染していたと結論したとしている。特定危険部位(SRM)(脳や脊髄といった組織)が食品として屠殺されるウシから除外されることが規定された年齢は、2000年にEU加盟国により12ヵ月令と決定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Assessing the Risk of vCJD Transmission via Surgery: an interim reviewEd. Department of Health2005年3月	専門家向けの手術器具の再使用を介した変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)感染リスクの分析のupdate。全体として、手術を介したvCJD感染リスクは重大であると考えられる。高水準の滅菌基準の実施が非常に重要であるが、現在の技術は限度があり感染患者に用いられた器具のvCJD感染のリスクは未だ有意であることなどについて記載されている。脳および眼底、続いて脊髄が関与する手術がもっとも高いリスクに関連している。
											C型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/hepc/hepatitis_c/pdf/library/bleach-eng.pdf	本報告ではC型肝炎感染の背景の提供、針およびシリンジに対する消毒としての漂白の使用に関する概要を記載。消毒としての漂白の使用に関するデータの概要に、B型肝炎およびHIV感染予防における漂白の有効性の比較などについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月13日	情報源:Alertnet、6月13日。米国農務省(USDA)は米国のBSE疑いウシは1997年の飼料禁輸措置以前に生まれたと述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月14日	今回の米国産BSE可能性患者となったウシは1997年8月以前に生まれており、この時期は米国政府がBSE感染拡大を予防するための新規飼料輸入規制を実施した時期であるとUSDAは述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月11日	ポルトガルのDGS(Portuguese Main Directorate of Medical Services)は、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が疑われる青年男性患者1名の存在を発表した。ポルトガルは初のvCJD疑い患者を発表し、フランスは13例名の患者を確認した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	http://www.itar-tass.com/eng/level2.html?NewsID=2128607&PageNum=0	ロシア南西部Tver地域でA型肝炎に罹患した住民数が、小児142名を含む547名に達したと、明らかにした。流行感染源としての汚染ビールの役割は相変わらず議論の余地があり、この感染源から感染性のあるウイルスはまだ分離確定していない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月11日	米国産のウシでBSE検査が陽性となり、さらなる追加検査の結果を確定するためにイギリスの検査室で実施される。以下、農務省USDAにより一旦BSE検査をクリアしたウシに改めてBSEの疑いがかけられたことに関して、公衆衛生上の新たなリスクにはあたらないとする記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月11日	アメリカで2例目のBSE陽性ウシが見つかった。検体は、2004年11月にテキサスで衰弱し死亡したウシから採取され、USDA検査長の要請で再検査された。2004年秋の検査でこのウシはBSEではないと思われていたが、より正確な検査を行った結果「弱陽性」となった。2つの検査結果が異なるため、検体は来週、英国のWeybridgeにある世界最高水準のBSE検査機関に送る予定である。
											A型肝炎	ProMed、2005年6月9日	2004年8月～9月に、Hurghadaのリゾート地のあるホテルに滞在した旅行者の間で大規模なA型肝炎の流行があった。オーストリア、スウェーデン、デンマーク、オランダ、ベルギー、イギリス、イタリア、スイスから患者が報告された。感染源として、朝食のビュッフェで出されたグレープフルーツジュースが疑われた事など
											クロイツフェルト・ヤコブ病	感染症週報Vol.7 No.2 2,2(2005)	第22週コメント:6月9日集計分によれば、A型肝炎1例、ウイルス性肝炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、後天性免疫不全症候群14例などが報告された
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.oie.int/Messages/050622AUT.htm	オーストリアで2例目のBSE症例が、2005年6月22日検査で診断された。1回目のBSE発生は2001年。問題のウシは1994年生まれで、5月26日に死亡しているのが発見され、それ以前に歩行障害を示していた。病原/感染源不明もしくは結論に到達していない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	MMWR, Vol.54No.24, 597-601 (2005)	男性と性的関係を持つ男性 (MSM) における HIV 感染, 以前に受けた HIV 検査などについて評価するため, CDC がアメリカの 5 都市のデータの分析を行った。中間結果で調査された MSM のうち 25% が HIV に感染し, それらの 48% は感染に気が付いていなかったことが示されていた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USA Today オンライン版 2005年6月10日	BSE の判定で矛盾した結果が出ていたウシについて, 2005年6月10日, 米国農務省長官が確定検査において狂牛病に対して陽性であったと発表した。検査サンプルは現在, 英国 Weybridge の世界公認研究所 (world recognized laboratory) において確定検査中。米国生まれでは初の BSE。1 例目はカナダから輸入された乳牛。
											HIV	"HIV/AIDS Epi Updates 2005" May 2005 ed by Public Health Agency of Canada	Public Health Agency of Canada の感染症対策予防センターのサーベイランスおよびリスク評価部門が 2005年5月に『HIV/AIDS の最新疫学情報 (HIV/AIDS Epi Updates)』を発行した。毎年 1 回編集されている, カナダにおける HIV 感染症の 30% は診断されていない可能性があることなどについて記載。ウェブサイトで見ることが可能。
											HIV	Surveillance Report to March 31, 2004	カナダ政府が『カナダにおける HIV 株および第一選択薬に対する耐性』を発行。HIV-1 サブタイプの分布, 第一選択薬に対する耐性 (1996年~2004年3月31日) について記載。ウェブサイトで見ることが可能。
											A型肝炎	ProMed, 2005年6月21日	6月21日現在 555 名が A 型肝炎の診断で入院中。緊急事態省によれば, Tver および Smolensk 地域では 6月2日以来, 小児 187 名を含む総計 694 名が A 型肝炎の診断で入院した。
											A型肝炎	ProMed, 2005年6月22日	Tver 地域南西地区での A 型肝炎患者数が, 小児 182 名を含む 662 名に達した。モスクワ市の衛生疫学局は, 2005年5月までの期間に, 小児 164 名を含む 1130 名が肝炎に罹患したと発表している。モスクワでは 4月20日から 6月14日の間に, 小児 16 名を含む 176 名が A 型肝炎に罹患した。成人 157 名と小児 15 名が入院した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	ProMed、2005年6月18日	ロシア南西部Tver地域におけるウイルス性A型肝炎患者数は小児177名を含む642名に増加。A型肝炎患者と接触のあった小児2000名を含む3000名以上がA型肝炎ワクチン予防接種を受けた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月21日	オーストリアのアルペン地方で再び狂牛病のウシが発見された。オーストリアで2例目となる。保健大臣と農業大臣が発表し、原因不明の死亡をした24ヶ月以上の牛に対する標準的安全手順であるルーチン検査により、11才の牛について確認された。感染経路は不明なことなど
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol.18 No. 25 2005年6月24日	オーストリアにおける今回のBSE感染ウシの概要。アウトブレイクの原因／感染源は、不明もしくは結論に到達していない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.oie.int/Messages/050628USA.htm	2005年6月27日、2004年11月に迅速スクリーニング検査で検討された際にはBSEと診断確定できなかった歩行困難なウシが、6月に英国WeybridgeにあるOIEのBSE委託研究所でウエスタンプロット法と免疫化学法を用いて陽性と確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.fda.gov/cber/regsopp/84015.htm	本マニュアルの目的、背景、方針などについて記載。
											HIV	http://allafrica.com/stories/200506201190.html	この国内の取り組みは新規HIV感染症症例数を低減させる為に設立され、ボツワナ政府およびAfrican Comprehensive HIV/AIDS Partnershipにより共同提案されている。国立血液輸血サービスの顧問病理学者の報告によると、プログラムを開始後12カ月に献血血液の廃棄は15.9%から9.9%に低下した。
											HIV	USA Today, オンライン版、2005年6月15日	米国南部における女性AIDS症例数は貧困、無力感、疾病に対する認識不足および医療の受けにくさが原因で増加している。特にヒスパニック系女性で4倍、黒人女性で18倍増加し、71%が異性間性交渉を介して感染しているとCDCは言及している。記事では米国北東部、中部大西洋岸部もHIV/AIDSの「ホットスポット」であると記述していることなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.usda.gov/wps/portal/usdahome?contentidonly=true&contentid=2005/06/0217.xml	かつて米国で判定が難しかったウシについて、英国の研究所で陽性の判定が下され、その結果がアメリカ政府に送付された。農務省は、2つの国際的に権威ある検査により矛盾した結果が得られるという状況にあり、専門家に助言を求めている」などと述べている。
											C型肝炎	http://www.phac-aspcgc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb2505_e.html	本報告ではC型肝炎感染の背景の提供、針およびシリンジに対する消毒としての漂白の使用に関する概要を記載。B型肝炎およびHIV感染予防における漂白の有効性の比較などについて記載されている。報告書はウェブサイトで閲覧できる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月29日	BSE検査陽性と同定されたウシが飼育されていた個体集団(群)がDNA検査により、テキサス州内で飼育されている集団で生育し、年齢が約12才前後であったことが確認されたと、米国農務省より発表された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月24日	従来狂牛病(牛海綿状脳症: BSE)ではないとされていた米国産ウシが検査でBSEであることが診断確定した。このウシは米国における2頭目のBSE患者になる。イギリスのWeybridgeにある国際BSE委託検査室においてBSE診断が確定した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月24日	6月17日時点でカナダ食品検査局(CFIA)は2005年度連邦および州検査室併せて32363頭のウシ検体検査を完了しており、2003年度の5500頭、2004年度の23550頭から大幅に増加している。以下、2005年1月に2頭のウシがBSE陽性と検査確定したことなどの記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月25日	2004年11月にBSE疑いで処分されたウシに関する英国の機関の検査により、その個体が米国の標準的な検査では陰性であったにもかかわらず、陽性の診断が確定したことを受けて、米国内のBSE検査システムの実質的な変更が命じられた。今回の事例診断確定までの経緯と米国で検査結果が陰性となった原因の可能性を含めた関係者のコメント。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月26日	2005年6月24日、米国農務省(USDA)がイギリスWeybridge(国際BSE委託検査室である)獣医学検査室(VLA)より、2004年11月に食用供給から外された動物検体が牛海綿状脳症(BSE)検査陽性であるとの最終検査結果を受領したことを公表。この米国2頭目のBSE感染ウシはベッフード工場で屠殺されたウシであること、ウシの生産元は不明であるが1997年以前に米国内で誕生したウシであることなどの記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE disease information, Vol.18 No. 26 2005年7月14日	米国において、BSE感染したウシは、米国政府が1997年8月に反芻動物組織を反芻動物の飼料とすることを禁じる前に生まれた。農務省は問題の動物の起源を確定するための調査を開始した。感染源は不明もしくは結論に到達していない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new7-1.htm	AABBドナー履歴専門調査会はFDAがまもなく血液および血液製剤のドナースクリーニングに用いるドナー履歴質問表および付随する資料の最終ガイダンスを発表する予定であると見込んでいる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new7-1.htm	BSE感染が確定された米国のウシは「国産」で初めての症例と思われる。米国におけるBSE症例は2003年にカナダから輸入されたウシで発見された。2005年6月24日、米国農務省長官により明らかにされ、この動物が食物連鎖に組み込まれる前に阻止されたという事実は、防護対策は有効に働いていることを示していると述べている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省Publications and statistics,2005/0231、2005年7月1日	クロイツフェルト・ヤコブ病年間統計(2005年7月1日現在):2005年7月1日現在の2005年のCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-24(散発例19、医原性1、家族性1、GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1、vCJD2)
											HIV	CDRWeekly,Vol. 15 No. 16 (2005)	英国静注薬物使用者のHIV有病率の動向。ロンドンにおいてHIV伝播の増加の可能性を示唆する徴候が提示された。HIV有病率は一次低減し、安定した状態であったが、近年では有病率が増加している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/26) 147-148 (2005)	2003年4月～2004年12月にGlasgowで197検体、Edinburghで401検体がHIV薬剤耐性検査を受けた。78%が遺伝子型耐性(ヌクレオシド逆転写酵素阻害剤(NRTI)耐性、非ヌクレオシド逆転写酵素阻害剤(NNRTI)耐性、プロテアーゼ阻害剤(PI)耐性を示し、22%が耐性を示さなかった。
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/aids-sida/hiv_aids/index.html	カナダにおけるHIV/AIDSをめぐる多方面からの関与の状況が記載されています。
											A型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb2605_e.html	2カ所のレストランの食品取扱者におけるA型肝炎陽性症例について通知を受け、A型肝炎12例が確認され、予防措置として保健当局はこのレストランの全ての従業員に予防接種を実施したことなどが記載されている。
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/publicat/hiv1-vih1-04/index.html	HIV/AIDSに関連した疫学および検査科学についての国内サーベイランスおよびリサーチを実施しているPublic Health Agency of Canadaの感染症対策予防センターのサーベイランスおよびリスク評価部門が『HIV/AIDSの最新疫学情報(HIV/AIDS Epi Updates)』を発行した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年7月0日	ポルトガル保健監督局長は最近、検査室診断結果(扁桃生検)で判明したポルトガルにおける最初のvCJD可能性患者を報告した。12才男子であり、専門家による医学的治療を受けている。イギリスへの渡航歴は無い。ダブリンにの病院入院中の患者がvCJD感染を疑われている患者が病院入院中と述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年7月1日	米国農務省(USDA)はBSE発症ウシ生産元がテキサス州南東部であると公表。狂牛病検査陽性となったウシはテキサス州南東部が生産元であると、このウシの配送を担当したベットフード会社所有者が2005年6月30日公表した。
2005/8/12	50376	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	チソキナーゼ	ヒト胎児肺細胞	米国	有効成分	無	無	無			
2005/8/12	50377	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	無	無	無			
2005/8/12	50378	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/12	50379	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	ブタペプトン	ブタ胃	米国	製造工程	無	無	無			
2005/8/12	50380	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	抗チソキナーゼモノクローナル抗体	マウスミエロマ細胞及びマウス抗チソキナーゼ抗体産生脾臓細胞から作成したハイブリドーマ	米国	製造工程	無	無	無			
2005/8/12	50381	株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	ヨウ化人血清アルブミン	ヨウ化人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005;20(2):447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											HTLV	Reuters News 2005年2月26日	今までヒトでは感染が確認されていなかった2種類のTリンパ球向性ウイルス(HTLV-3, HTLV-4)が初めて人から分離された。
											マールブルグ病	WHO /CSR 2005年3月31日-4月22日	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
2005/8/17	50382	興和株式会社	チソキナーゼ	ウシの血清	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
2005/8/17	50383	興和株式会社	チソキナーゼ	チソキナーゼ	ヒト胎児の肺に由来する正常二倍体繊維芽細胞	米国	有効成分	無	無	無			
2005/8/17	50384	興和株式会社	チソキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血清	日本	添加物	無	無	無			
2005/8/17	50385	興和株式会社	チソキナーゼ	ペプトン	ブタの胃	米国	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/17	50386	興和株式会社	チソキナーゼ	抗チソキナーゼモノクローナル抗体	マウスミエロマ細胞及びマウス抗チソキナーゼ抗体産生脾臓細胞から作成したハイブリドーマ	米国	製造工程	無	無	無			
2005/8/23	50387	三共エール	ダルテパリンナトリウム	血液凝固阻止剤	豚小腸	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
2005/8/19	50388	麒麟麦酒株式会社	エポエチナルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	アメリカ合衆国	製造工程	有	無	無	サルモネラ	ProMED情報(詳細) 2005.5.17	2004年ミネソタ州保健局公衆衛生研究所は、ミネソタ州のペット卸売り業者が保有する病気のハムスターからサルモネラ(Salmonella enterica 血清型Typhimurium)が分離されたことを米国厚生省疾病管理・予防センター(CDC)に報告した。この報告は今回の流行に関連して初めて同定されたヒト2症例について記載し複数のペット販売店で購入したハムスターを含むげっ歯類との接触に関連した複数の州におけるネズミチフス菌感染ヒト患者調査を要約し、ペットげっ歯類から飼い主への感染伝播の低減に着目している。また、この報告はペットげっ歯類に関連したはじめてのサルモネラ症流行の文書である。この所見から、ペットげっ歯類の取り扱いが特に小児の健康上のリスクとなる可能性を示している。公衆衛生関係者は、ペットげっ歯類がサルモネラ症の感染源となる可能性があることを考慮すべきである。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											サルモネラ	ProMED情報(詳細) 2005.6.1	CDCによる2005年5月にマサチューセッツ州、ロードアイランド州で発生した臓器移植に伴うリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染死亡患者事例に関する調査要約、暴露リスクおよび感染予防情報。 2005年5月3日、CDCは共通のドナーから臓器移植を受けた患者4例における重症疾患の報告を受けた。その後、4例のレシピエントはリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス(LCMV)に感染していたことが明らかとなった。調査の結果、感染源としてドナー宅で飼育されていた感染ハムスターの可能性があることが示唆された。2005年4月、ロードアイランドの女性が脳死した際(徹底的な評価により感染症は示唆されなかった)、女性の家族が臓器提供に同意し、肝臓、肺、腎臓、角膜および皮膚が提供された。移植後3週間以内に、レシピエント4例(肝臓1、肺1、腎臓2)が肝機能・血液凝固異常になり、移植臓器が機能不全になった。4例中3例が、移植後23~27日後に死亡した。4例目(腎移植を受けたレシピエント)は生存している。4例の組織病理学的所見は様々であるが、死亡3例では肝細胞壊死が共通していた。角膜レシピエント(2例)は無症候で皮膚は移植されなかった。調査によりLCMV感染が判明したため、生存している腎臓レシピエントは治療により、臨床的に改善した
2005/8/19	50389	麒麟麦酒株式会社	エポエチナルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	ProMED情報(詳細) 2005.5.11 (国際獣疫事務局(OIE) Disease Information Vol.18-No.17 2005.4.29)	緊急報告の理由: 流行終息宣言地域におけるOIEリスト掲載疾患の再発生 起因病原体の正確な同定ー水胞性口炎ウイルスNew Jersey型 感染の初回確定日ー2005年4月27日感染の発生日ー2005年4月19日 アウトブレイクの詳細ー場所: ニューメキシコ州Grant郡Mule Creekの農場。ウマ: 疑い6例、発症2例。ウシ: 疑い110例。感染群の概要ーウマ6頭は敷地内で飼育されており、ウシの放牧のための労働を行っていた。ウシ(雌牛、仔牛および雄牛)の年齢構成は幅広い。アウトブレイクの原因／感染源ー不明あるいは未確定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED情報(詳細) 2005.7.4 (USDA記者発表 2005.6.29)	米国農務省(USDA)主任獣医官John Clifford氏による声明。2005年6月第4週、BSE検査陽性と同定された動物が飼育されていた個体集団(群)がDNA検査により同定された。飼い主から当局が入手した情報に基づいて、このウシはテキサス州内で飼育されている集団で生育し、年齢が約12才前後であったことが確認された。問題のウシは、テキサス州のペットフード工場へ送られ、到着時に抜き取り検査検体として選択された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED情報(詳細) 2005.7.4 (OIEウェブサイト、 2005.6.28)	2004年11月に迅速スクリーニング検査で検討された際にはBSEと診断確定できなかった歩行困難なウシが、2005年6月に英国WeybridgeにあるOIEのBSE委託研究所でウエスタンブロット法と免疫化学法を用いて陽性と確認された。歩行困難な個体として、問題のウシはヒトの食糧連鎖からは除外されている。死骸は焼却処分された。感染源は不明である。感染したウシは、米国政府が1997年8月に反芻動物組織を反芻動物の飼料とすることを禁じる前に生まれた。農務省は問題の動物の起源を確定するための調査を開始した。
2005/8/19	50390	麒麟麦酒株式会社	エポエチンアルファ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ膀胱由来トリブシン	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	ProMED情報(詳細) 2005.4.18	ジャワ島東部のAirlangga大学のNow C A Nidom(博士)は、現地のブタから採取した咽頭拭い液と血液検体からH5N1型ウイルスを検出した。ブタはヒトのインフルエンザウイルスも鳥インフルエンザウイルスにも感染するため、研究者らはブタがヒトでの汎流行インフルエンザウイルス株への変異を促す「攪拌槽」の役割を持つのではと危惧している。New Scientist誌は、米国内の研究者による予備的な研究結果から、ブタ同志ではH5N1型ウイルスを感染伝播しないことが示唆されたという情報を入手している。
											鳥インフルエンザウイルス	ProMED情報(詳細) 2005.5.23	2005年4月末近くにカリマンタン島East Kalimantan州Samarinda地域Sidomulyaにおいて最近30羽のニワトリが死亡しているのが発見された。Java島東部の大学研究者がSurabayaのブタ1頭の咽頭拭い液と血液検体からRT-PCR法でH5N1型ウイルスを検出した。不活化された単離RNAは東京大学に送付され、遺伝子配列が解析された。その結果このウイルスは高病原性を有し、家禽から分離された鳥インフルエンザウイルスと相同であった。分離されたウイルスの血液凝集素(HA)遺伝子配列は98%以上インドネシア産感染ニワトリやウズラから採取された検体と相同であった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	ProMED情報(詳細) 2005.5.23	インドネシアの研究者らがジャワ島のブタからトリインフルエンザ株を発見し、このウイルスがより容易にヒトに感染伝播する可能性の懸念が高まったと政府と科学者らが2005年5月14日述べた。この発見をした科学者らはブタから検出されたウイルスをH5N1型であると同定した。検査したブタ20頭中10頭からH5N1型が発見された。これらのブタは2004年鳥インフルエンザ流行の発生したJava島の養鶏場から100ヤードの距離で飼育されていたが、なんら臨床症状を発症していなかった。
											鳥インフルエンザウイルス	ProMED情報(詳細) 2005.6.6	Banten州Tangerangにおいて調査3件が実施され、合計187検体が採取された。第1回目の調査が2005年2月23日にLegokのBabat村で実施され、鼻腔拭い液10件中5件が鳥インフルエンザ陽性となり、血清型はH5N1と同定された。第2回目の調査は2005年4月14日にPanonganのRancaiyuh村で実施され、5か月齢以上のブタ31頭から採取された鼻腔拭い液10件中6件がH5N1型鳥インフルエンザ陽性であった。第3回目の調査はLegokのBabat村で実施され、1歳以上のブタ6頭から採取された鼻腔拭い液6件中1件がH5N1型鳥インフルエンザ陽性であった。鳥インフルエンザの臨床的徴候を示したブタはいなかった。
2005/8/23	50391	持田製薬株式会社		ヘパリンカルシウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
2005/8/25	50392	日本製薬株式会社	加熱人血漿たん白人血清アルブミン(20%) 人血清アルブミン(25%) 乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン トロンビン 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人免疫グロブリン 乾燥人血液凝固第Ⅲ因子複合体	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/25	50393	ZLBベーリング株式会社	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
											人畜共通感染症	QJ Med 2005;98:255-74	ヒトの精神神経疾患におけるBVD感染との関連性について。
											バルボウィルス	Transfusion 2005;45(6):1011-19	血液製剤によるヒトバルボウィルスB19の潜在的感染に対し製造業者はハイタイターのミニプールの核酸及び免疫学的スクリーニングを導入している。今回の報告段階で導入していれば感染が引き起こされなかった可能性がある。
2005/8/25	50394	ZLBベーリング株式会社	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
											人畜共通感染症	QJ Med 2005;98:255-74	ヒトの精神神経疾患におけるBVD感染との関連性について。
											バルボウィルス	Transfusion 2005;45(6):1011-19	血液製剤によるヒトバルボウィルスB19の潜在的感染に対し製造業者はハイタイターのミニプールの核酸及び免疫学的スクリーニングを導入している。今回の報告段階で導入していれば感染が引き起こされなかった可能性がある。
2005/8/26	50395	シェリング・プラウ株式会社	インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	有	デング熱	ProMED20050106-0030 Jan. 12, 2005	2004年の最初の9か月間で、8237名がデング熱に、360名がデング出血熱に罹患した。
											狂犬病	CDR WEEKLYVol. 15, No. 9Mar. 3, 2005	ドイツの臓器移植財団は、2004年12月下旬に死亡したドナーから臓器を移植された患者6例中3例が狂犬病の可能性例であることを公表した。
											狂犬病	AABB WeeklyReportVol. 11, No. 10 Mar. 25, 2005	患者が臓器を移植されたレシピエント3名は狂犬病に関連した症状を診断され死亡し、肺を移植されたレシピエント1名も手術中に死亡した。
											狂犬病	ProMED: 20050408-0020 Apr. 7, 2005	狂犬病ウイルスに感染した女性から肝臓と腎臓の移植を受けたドイツ人が狂犬病で死亡した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マラリア	CDC/MMWR54(15); 383-384Apr. 22, 2005	グアテマラ共和国から米国に移住した母親から生まれた生後7週間の新生児(男)における先天性マラリアの症例報告。
											ウエストナイルウイルス	Department ofHealth./Press releases Mar. 1, 2005	米国において輸血および臓器移植による西ナイルウイルス症例数例が報告されている。
											デング熱	ProMED: 20050516- 0070 2005/5/12	2005年これまでに12名が死亡しており、昨年の死亡総数の約2倍にあたと保健当局が2005年5月12日公表した。
											ウイルス感染	ProMED: 20050520- 0020 2005/5/18	レユニオン島(モーリシャス島から230km)では、チクングンヤウイルス病の最初の患者は先週初めに報告され、その後患者数が急激に増えている。
											デング熱	ProMED: 20050520- 0070 2005/5/18	North Cotabato州でデング熱患者の急増が見られた。
											マラリア	CDC/MMWR54(SS02); 25-39Jun. 3, 2005	米国で感染したマラリア症例10例のうち1例が輸血関連と考えられる。
											デング熱	ProMED: 20050530- 0010 2005/5/21	タイにおける死亡患者総数は16名に増加した。またプーケット島において、2004年以降デング熱患者が2倍に増加したことが判明した。
											デング熱	ProMED20050118-0030 Jan. 14, 2005	同国保健相は、2004年12月には、デング熱患者週平均数が450名から約1000名へと倍増したと発表した。
											デング熱	CDC/MMWR54(22); 556-558Jun. 10, 2005	77例の急性デング感染症と検査確定されたうち8例が1次感染、12例が2次感染と診断された。
											デング熱	ProMED: 20050603- 0050 Jun. 1, 2005	フィリピンではデング熱患者は昨年と比べ増加率は298%となる。またエクアドルでは、デング熱患者数が増加中であり、デング熱患者の大部分は小児である。
											C型肝炎	共同通信 2005/5/30	HCVの混入した血液が日赤の高感度検査をすり抜けて、2004年4月に80代女性患者に輸血(赤血球輸血)されていたことが報告された。
											デング熱	ProMED: 20050613- 0010 Jun. 6, 2005	フィリピン保健省は、2005年のデング熱の患者数は3倍に増加したと報告した。ベトナムの地方保健当局は、死亡患者3名を含む6,700名のデング熱患者を報告している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											デング熱	ProMED: 20050617-0050 Jun. 15, 2005	コスタリカで、デング熱患者が急増している、とコスタリカの保健当局が警告した。今年の初めから4400名以上の患者が報告され、2004年の51%増である。
											デング熱	ProMED: 20050624-0030 Jun. 22, 2005	エルサルバドルでは、デング熱患者数は1278名に増加した。イエメンShabwa地域では、デング熱患者数が増加している。
											B型肝炎	共同通信 Dec. 17, 2004	B型肝炎の低濃度キャリアからの輸血で検査をすり抜け3人が感染した。
											E型肝炎	ProMED 2004 Dec;74(4): 563-572	1979年にHEVに感染した1名は、ウイルス血症になる21日前に2Uの血液を輸血していたことを確認した。
											デング熱	ProMED 20050131-0030 Jan. 29, 2005	生体腎移植後にドナーからレシピエントにデングウイルスの感染伝播の可能性があり、結果として劇症のデング出血熱に至った症例の報告。
											デング熱	ProMED 20050210-0020 Feb. 8, 2005	マレーシア当局は、クアラルンプールの2005年1月最終週のデング熱患者数が336名に増加と報告。一方シンガポール当局は、2004年全体でデング患者9459名を記録した。
											ブドウ球菌感染	CDC/MMWR54(07); 168-170Feb. 25, 2005	2004年に発生した血小板輸血に関連した致死的な敗血症2症例についての概要などに関する報告。
											HTLV	CDR WEEKLYVol. 15、No. 8Feb. 24, 2005	2004年に英イングランドおよびウェールズにおいてHTLV感染症新規診断が83例あった。
											狂犬病	ProMED: 20050219-0030 Feb. 18, 2005	ドイツの臓器移植レシピエント3名がおそらく狂犬病に感染していたと思われる女性から死体臓器提供を受けて狂犬病に感染した。
2005/8/26	50396	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
2005/8/26	50397	財団法人 化学及血清療法研究所	感想細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 組織培養不活化狂犬病ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程 添加物・ 製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/8/26	50398	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	アメリカ	製造工程 添加物 製造工程	無	無	無			
2005/8/26	50399	三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の脾臓	ニュージーランド	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Press Release 2005年2月2日	2005年1月28日、BSEに対するOIE委託研究所である英国の獣医学研究所を含むEUの専門研究所からのフランスのヤギにおけるBSE初症例について。
2005/8/26	50400	三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血漿	ニュージーランド	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Press Release 2005年2月2日	2005年1月28日、BSEに対するOIE委託研究所である英国の獣医学研究所を含むEUの専門研究所からのフランスのヤギにおけるBSE初症例について。
2005/8/30	50401	大日本製薬株式会社	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省 緊急情報 健康局疾病対策課国内における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の発生について(2005.2.4)。変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に係る感染経路について(2005.3.7)	日本国内で初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)が確認された。症例は男性で平成13年に40歳代で発症し、平成16年死亡。平成元年頃、約1か月間の渡英・仏歴あり。Prion蛋白遺伝子に変異がみられず、vCJDに特徴的な病理所見およびウエスタンブロットの所見からvCJDと診断(2005.2.4)。感染経路は、輸血歴等無く、渡航中のBSE牛の経口摂取の可能性が示唆される(2005.3.7)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA News Release. No.0232.Jun 24, 2005 USDA ANNOUNCES BSE TESTRESULTS AND NEW BSE CONFIRMATORY TESTING PROTOCOL	米国テキサス州生まれで、2004年11月にアメリカ農務省(USDA)がBSE擬陽性と判定したウシの試料を英国Weybridge研究所が検査の結果、3頭のうち1頭をBSEと判定。以後、USDAはELISA試験が陽性の場合、二次検査としてWestern blotあるいは免疫組織化学的検査を実施し、少なくとも一方が陽性の場合にはBSEと判定することに検査法を改正
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed-mailArchive Number:20050128.0312[3]Published Date:28-JAN-2005	フランスにおいて2002年来BSE感染の疑われていたヤギは、その後英国とフランスとの共同研究により確認試験を実施中であつた。マウスを用いたbioassay試験の結果、当該疾病は世界初のヤギへのBSE感染例であることが確認された(2005年1月28日発表)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED: 20050126-0070: 2005/01/19 OIE Disease Information Vol.18-No.3	2005年、カナダのアルバータ州Red Deer地区の牧場で生産・飼育されたウシ1頭にBSEが確認された。罹患ウシは雌のCharolais種で、1998年3月生まれの81カ月齢であった。同時出生群として、25頭が生産牧場で、別の個体が他の7カ所の牧場でそれぞれ飼育中。当局は関連性を追跡中である。カナダでの飼料規制は1997年
2005/8/30	50402	川崎三鷹製薬株式会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			